取扱説明書

DVDプレーヤー 一体型VHSビデオ

型名 **HR-DV5**

はじめに
設置と準備
ビデオを楽しむ
DVDを楽しむ
その他

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

● ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(6～7ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

設置と準備

ビデオを楽しむ

DVD を楽しむ

その他

主な特長

電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
G コード®予約* ☞42

CM 部分を自動的にカットして録画する
CM カット ☞42

停止した場所から DVD が再生できる
リジューム再生 ☞56

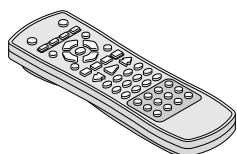
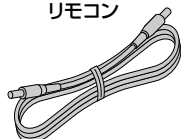
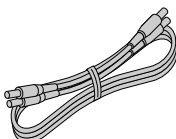
チラツキの少ない高画質映像にする
プログレッシブスキャンモード ☞61

CD-R に記録した MP3 や JPEG ファイルの再生ができる
MP3/JPEG ディスクの再生 ☞65

ドルビーデジタル /DTS サラウンドに対応した
ドルビーデジタル /DTS 対応光音声出力 ☞71

＊G コード（又は G-CODE）は、ジェムスター社の登録商標です。
＊G コードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

付属品を確かめる

箱を開けたら、次の付属品がそろっているか確認してください。

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
■ 録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

取扱説明書の見かた

※イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。

■ 本文中では、おもにリモコンのボタンを使って説明しています。
■ 操作手順の中のボタン名称については［ ］で囲っています。
例　設定メニューボタン→［設定メニュー］
■ 本文中の記号の見かた

操作上の注意などが書かれています。

参照ページや参照項目を示しています。

機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

ビデオ側の動作または操作が書かれています。

DVD側の動作または操作が書かれています。

DVDプレーヤーの機能の中には、ディスクの種類によっては使えないものがあります。次のマークは、どのディスクで使える機能なのかを示すためのものです。

例:

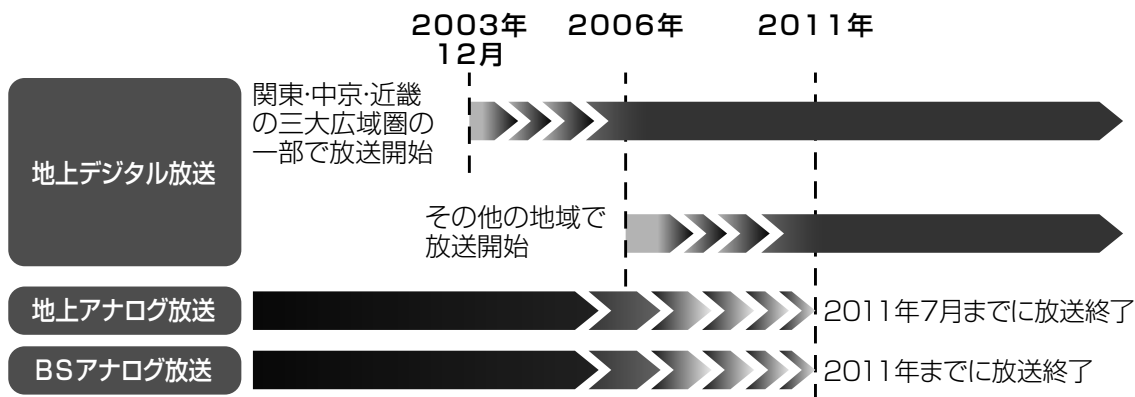
例は、オーディオCD以外で使える機能を意味しています。

地上デジタル放送の受信について

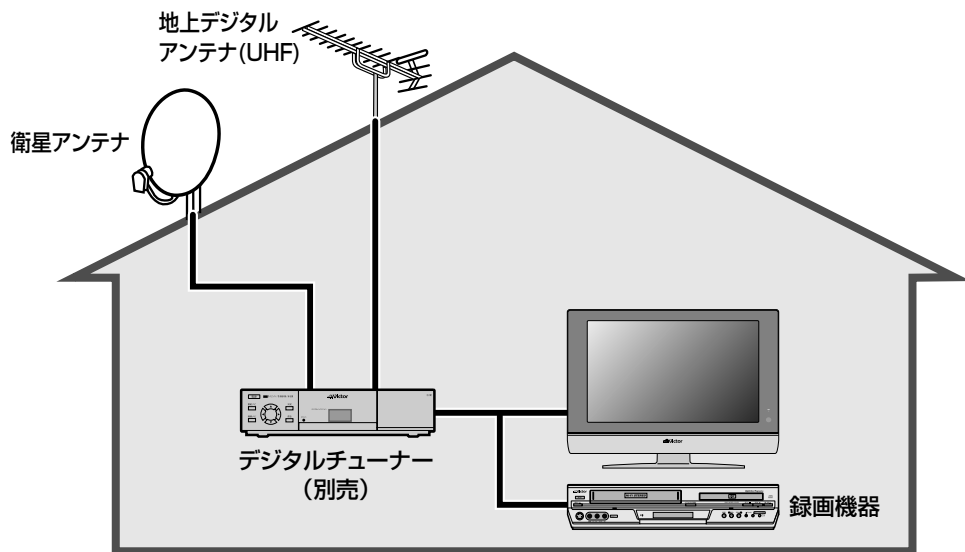
地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行と、地上デジタル放送をご覧になる場合についてご案内いたします。

地上デジタル放送への移行スケジュール

地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

地上デジタル放送をご覧になるには

地上アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器で地上デジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、地上デジタル放送を録画頂けます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

安全上のご注意

人への危害や財産への損害を未然に防止するために、製品を安全に正しくお使いいただくための説明です。

注意が必要であることを表示

禁止行為であることを表示

しなければならない(強制)ことを表示

警告 死亡または重症を負う可能性が想定されている内容を示しています。

次の異常が発生したときは、ただちに電源プラグを抜く

- **発煙、異臭が発生したとき**
- **内部に水、異物が入ったとき**
- **落下、破損したとき**
- **電源コードが傷んだとき**

ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、最寄りの販売店またはサービスまでご連絡ください。ご自分では決して修理しないでください。

電源プラグやコンセントにほこりや金属類を付着したまま使用しない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
- 半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

電源プラグは、抜き差ししやすいコンセントに差し込む

- 本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

電源プラグは奥まで確実に差し込む

- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。

表示された電源電圧以外では使用しない

- 火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となります。

雷がなったら、アンテナや電源プラグには触らない

- 感電することがあります。

梱包に使用していたポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところには置かない

- 頭からかぶると、窒息の原因となります。

不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃のあるところに置くと、落下、転倒などからケガの原因となります。
- 本機は縦置きでの設置は不可です。

内部に物を入れない

- 機器の内部に物が入ると、火災や感電の原因となります。

分解・改造をしない

- 内部に高電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。

1年に1度は内部の点検を販売店に依頼する

- ホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となります。
- 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、効果的です。

機器の上に花瓶やコップなどを置かない

- 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

ぬらさない・風呂場では使用しない

- 火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

- 傷んだまま使用すると、火災や感電の原因となります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

- コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

注意 **傷害を負ったり、物的損害が想定されている内容を示しています。**

乾電池について、次のような誤った取り扱いはしない

- **プラス（＋）とマイナス（－）のまちがい**
- **違う種類や一度使用した電池を混ぜる**
- **電極のショート**
- **加熱、分解および水中もしくは火中へ入れる**
- **充電する**

誤った使い方をすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでケガ、火災の原因となります。
長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
万一、液漏れしたら、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってください。液が身体、衣服などに付いたときは、水でよく洗い流してください。

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

・ 電源が「切」でも機器に電気が流れています。安全、節電のために電源プラグを抜いてください。

移動するときは、電源プラグや接続コード類を抜く

・ コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

・ けがの原因や、変形して火災や感電の原因となります。

通気孔をふさがない

・ 内部に熱がこもって、火災の原因となります。

湿気やほこり、湯気、油煙の当たる場所には置かない

・ 油や水分、ほこりなどに電気が流れ、火災や感電の原因となります。

熱源の近くには置かない

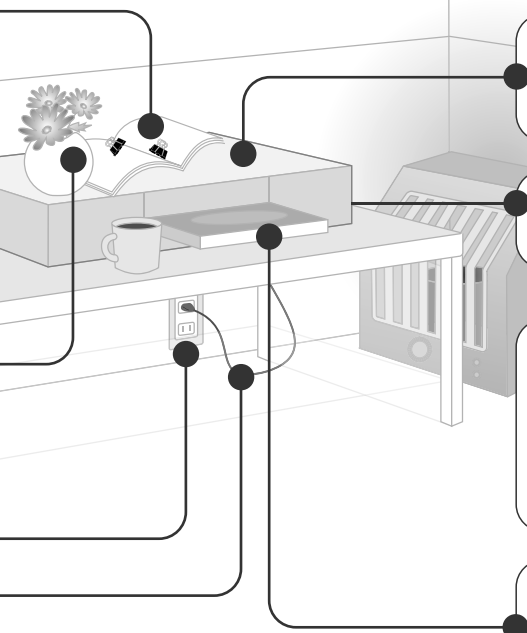
・ 機器の変形、劣化のほか、火災の原因となります。

カセットおよびディスクトレイに手をはさまれないように注意する

・ ケガの原因となります。特に小さなお子様にはご注意ください。

ディスクトレイの前に物を置かない

・ トレイの前に熱湯を入れたカップなどを置くと、トレイが開いたときにケガ、やけどの原因となることがあります。

ビデオ使用上のご注意

きれいな画面でご覧いただくために（クリーニングテープ）

■ 本機にはオートヘッドクリーニング機構が付いていますが、長い間ご使用になるうちにザラザラした画面になることがあります。このようなときは、別売の「クリーニングカセット」でビデオヘッドを掃除してください。

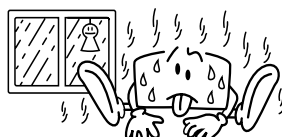
■ こんな症状になったら

- ● テープを再生すると、ザラザラした画面になる。
- ● 映像が不鮮明、または映らない。

こんなときは

- ● 乾式の**クリーニングカセット TCL-SD** を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

■ ヘッドの汚れの原因

- ● 高温・多湿（梅雨時期など）● 空気中のほこり

- ● テープの傷、汚れ
- ● カビの生えたテープ
- ● 長時間の使用など

■ クリーニングカセットを使っても正常な画面にならないときは
お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口（**78** ～ **79** ページ）にご相談ください。

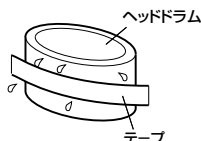
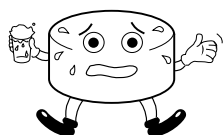
つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」（または結露）といいます。

■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが張り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。

■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
- ・ ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- ・ 急に部屋を暖房したとき
- ・ エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- ・ 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。

■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

長期間ご使用にならないときは

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

ビデオカセットテープの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
- ・ 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- ・ 直射日光が当たるところやストーブの近く
- ・ 磁気の発生するところ

■ 落としたり衝撃を与えないでください。

■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。

■ ケースに入れて、立てて保管してください。

ディスクの予備知識

本機で再生できるディスク

本機では以下のディスクを再生できます。

ディスクの種類とマーク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ	音楽＋映像	12センチと8センチ*
スーパービデオCD/ビデオCD	音楽＋映像	12センチと8センチ*
オーディオCD	音楽	12センチと8センチ*

＊本機は８センチディスクをアダプター（CDシングルアダプター）なしで再生してください。アダプターをつけた状態では再生できません。

次のディスクも再生できます。

- DVDビデオのフォーマットで記録し、ファイナライズされたDVD-R（ビデオ）/RW（VR、ビデオ）および+R/RWディスク
- 音楽用のCDフォーマット（ファイナライズされたディスクに限ります）あるいはMP3/WMAフォーマット、JPEGフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク

- ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプCDなど）は再生できません。
- 2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換えるとき、映像や音声が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。

- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
  このようなときは、テレビ画面に「⃠」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。
- 次のディスクは音声のみ再生することができます。
  CD-G（グラフィック）、CD-EXTRA（エクストラ）、CD TEXT（テキスト）、および MIX-MODE CD
- DTSフォーマットで記録されたDVDビデオやオーディオCDの音声を正しく再生するには、DTSデコーダー搭載機器を接続してください。

再生できないディスク

次のディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。

- DVDオーディオ
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- CD-ROM
- SACD
- フォトCD

メモ

- 本機では、CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CDロゴマーク

リージョン番号（ローカル番号）について

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、国や地域ごとに割り当てられている番号がついています。この番号がDVDプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」ですので、DVDのディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。

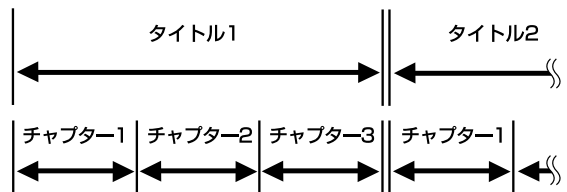
本機で再生できるDVDビデオの表示例

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式（PAL）のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

ディスクの構成

DVDビデオ

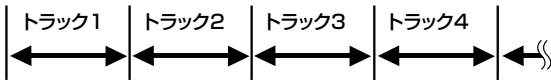
多くのDVDビデオは、**「タイトル」**と呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。また、タイトルはさらに**「チャプター（章）」**という小さな単位に分割されています。タイトルとチャプターにはそれぞれ番号（タイトル番号、チャプター番号）が付けられていて、それらを選んで再生を始めることができます。

- ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

はじめに

ディスクの予備知識(つづき)

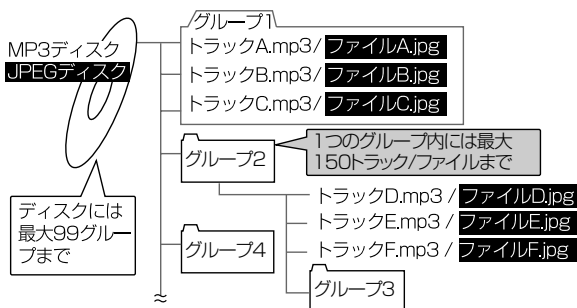
ディスクの構成(つづき)

オーディオ CD/ ビデオ CD/ スーパービデオ CD

これらのディスクは、**「トラック」**と呼ばれる単位から構成されていて、それぞれのトラックには番号(トラック番号)が付けられています。たとえば2曲目は、「トラック2」となります。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

- ディスクによっては「インデックス」と呼ばれる頭出しマークがトラックに記録されているものもあります。本機はインデックス・マークの頭出し機能には対応していません。

MP3 ディスク /JPEG ディスク

本機はMP3ファイル、JPEGファイルを記録したDVD-R/RWおよびCD-R/RWディスクを再生することができます。(本取扱説明書ではこれらのディスクを「MP3ディスク」「JPEGディスク」と呼びます)

MP3ディスク/JPEGディスクには、それぞれの曲または映像が「**トラック**/**ファイル**」として記録されています。また、複数のトラック/ファイルをジャンル別、アーティスト別などの「**グループ(フォルダ)**」にまとめて分類できます。さらに「グループの中にグループ」を作ることにより、グループ/トラックの階層構造をつくることができます。この階層は、パソコンにおけるフォルダ/ファイルの階層と同じです。

- ファイルが入っていないフォルダは、グループとして認識されません。
- フォルダに入っていないファイルはグループ1のトラックまたはファイルとして扱われます。
- 本機は、1 枚のディスク内で最大99のグループ、各グループ内で最大150のトラック/ファイルを認識します。これらを超えるものは認識できず、再生できません。またグループ(フォルダ)内にMP3/JPEG以外のファイルが含まれるときは、認識できるファイル数が150に満たないことがあります。

MP3/JPEGディスクやファイルについて

ディスクについて

- MP3/JPEG ディスクは、ISO9660 フォーマットで記録されている必要があります。
- 本機はマルチセッションで記録されたディスクの再生に対応しています。

ファイル名について

- MP3 ファイルには「.mp3」、JPEG ファイルには「.jpg」の拡張子が必要です。(拡張子に、大文字小文字が混在していてもかまいません)
- MP3/JPEG ファイルのファイル名に半角英数字以外の文字が使われていると、MUSIC コントロール画面(☞**65** ページ)や PHOTO コントロール画面(☞**66** ページ)にトラック / ファイル名が正しく表示されないことがあります。

再生について

- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック(ファイル)の数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3 ファイルと JPEG ファイルの両方が収録されているディスクは、[タイトル]でどちらのファイルを再生するか選択します。(☞**65** ページ)
- MUSIC(MP3)コントロール画面に表示されるトラック/グループの順序、およびPHOTO(JPEG)コントロール画面に表示されるファイル/グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル/フォルダの順序と異なることがあります。

MP3 ディスクについて

- MP3 ファイルの ID3 タグには対応していません。
- MP3 ファイルがサンプリング周波数 44.1kHz、転送レート 128kbps で作成された MP3 ディスクを推奨します。

JPEG ディスクについて

- JPEG ファイルの解像度は「640 × 480」をおすすめします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、水平解像度が2400 ピクセルを超える画像は表示できません。
- JPEG ファイルを静止画再生(☞**66** ページ)しているときは、スクリーンセーバー機能は働きません。
- 本機で再生できる JPEG ファイルはベースライン方式です。
- 再生できない JPEG ファイルの場合は、黒い画面になります。

オーディオフォーマットについて

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声の信号には、次の3 種類のフォーマットがあります。

ドルビーデジタル (Dolby Digital)

サラウンド方式の一つで、音質を損なうことなく音声データを圧縮し、フロント2ch、センター1ch、リア2chおよびサブウーハー0.1ch の5.1ch まで対応しています。

ただし、すべてのドルビーデジタルディスクが5.1chで収録されているとは限りません。

DTS Digital Surround

サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じく最大で5.1ch です。音声データの圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのある再生が可能です。ただし、すべてのDTS 対応のディスクが5.1ch で収録されているとは限りません。

リニア PCM

主にCDなどで使われているデジタル信号方式の一つです。

● フォーマット、および本機と接続するデジタル音声機器に応じて、DVD設定メニューの「オーディオ➡Dolbyデジタル出力」の設定を変更する必要があります。詳しくは、53ページをご覧ください。

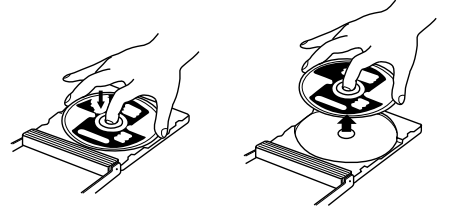
商標と著作権

・ 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
・ 本機はデジタル・シアター・システムズ社からの実施権に基づき製造されています。
dts Digital Out、DTS Digital Out はデジタルシアターシステムズ社の商標です。
・ 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
・ ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
・ DVD ビデオのロゴは商標です。
・ 著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送は録画・ダビングできません。
・ 本機で録画・編集したものや縮小画面等を、営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

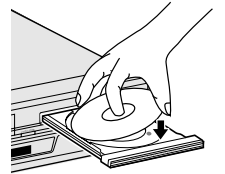
ディスクの使用上のご注意・お手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

• ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。

• ディスクに傷をつけないでください。
• ディスクの信号面（文字の書かれていない面）を汚したり、ラベル面（文字の書かれている面）に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
• ディスクを反らせないでください。

ディスクの入れかた

文字のある面を上にしてディスクトレイの上に置きます。再生するディスクによっては大きさが違いますので、溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

• 8 センチディスクは、内側の凹部に置きます。

ディスクの保管

使用するディスクは、ホコリ、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

• 直射日光の当たるところ
• 湿気やほこりの多いところ
• 暖房器のそばや車の中など

ディスクのクリーニング

• ディスクの信号面についたホコリや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

• レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

設置と準備の進めかた

設置と準備の進めかた

お客様ご自身で、本機の接続をされるときには、次の順序に従ってください。

❶ 付属品を確かめる

❷ 本機にアンテナとテレビをつなぐ

（☞18ページ）

（2 台以上の当社製ビデオを操作する場合）

❸ 本機のリモコンの設定をする

（お持ちの機器を操作できるように設定します。）

・ビデオデッキのリモコンコード

（☞24ページ）

❹ 受信チャンネルを設定する

・地域番号で設定する（☞25ページ）

・自動チャンネル設定をする（☞26ページ）

❺ 日付と時刻を設定する

（☞35ページ）

これで設置と準備が終わりました

テレビに本機の画面を出す

左の操作の手順 ❸ の設定が終了したときに、テレビに本機の画面を出し、正しく接続できたかどうかを確かめてください。
テレビで本機のメニュー画面などを見るときも、下記の操作を行なってください。

❶ テレビの電源を入れ、本機が接続されている外部入力（ビデオなど）を選ぶ

❷ [電源] を押して本機の電源を入れる

❸ [VHS] を押す

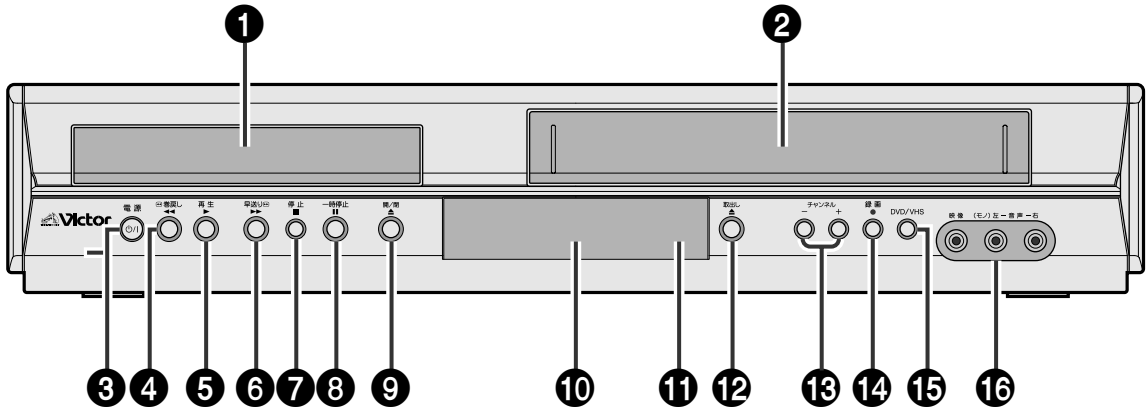
- 本体表示窓にVCRを表示します。
- DVDプレーヤーを操作するときは「DVD」を押します。

❹ 録画済のVHSテープを再生して、本機の画面が映っていることを確かめる

- または **[設定メニュー]** を押して、メニュー画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。（☞37ページ）
（メニュー画面を消すには、もう一度 **[設定メニュー]** を押す）

各部の名称

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。詳しい説明が記載されています。

本体前面

❶ **ディスクトレイ**（☞55ページ）
❾の［開／閉（⏏）］を押すとディスクトレイが開閉します。

❷ **VHSテープ挿入口**（☞38ページ）
VHSテープを入れます。

❸ **電源ボタン**
本機の電源を「入／切」します。

❹ **巻戻し（◀◀）ボタン**

❺ **再生（▶）ボタン**
再生を始めるときに押します。

❻ **早送り（▶▶）ボタン**

❼ **停止（■）ボタン**
録画や再生を止めるときに押します。

❽ **一時停止（❚❚）ボタン**
録画や再生を一時停止するときに押します。

❾ **開／閉（⏏）ボタン**
ディスクトレイを「開／閉」するときに押します。

❿ **表示窓**（☞15ページ）

⓫ **リモコン受光部**（☞23ページ）

⓬ **取出し（⏏）ボタン**
VHSテープを取り出すときに押します。

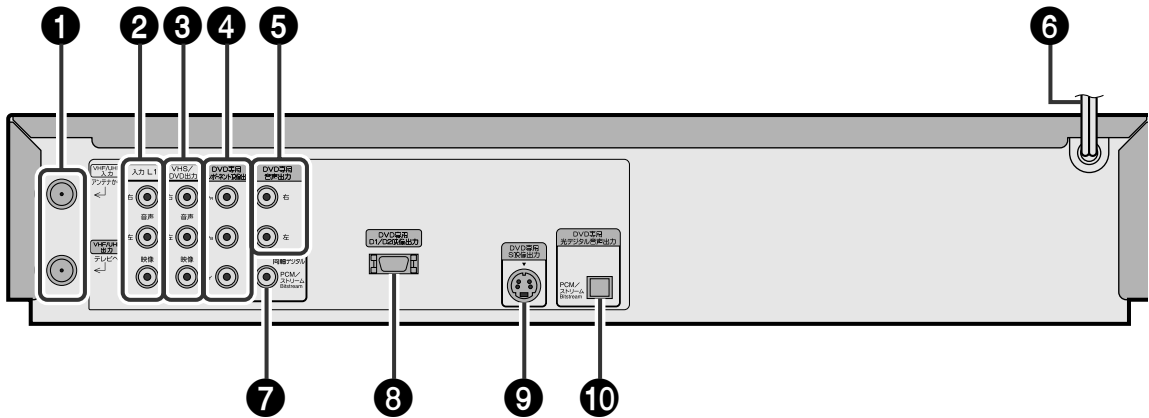
⓭ **チャンネル（＋／－）ボタン**

⓮ **録画（●）ボタン**
録画を始めるときに押します。録画中にくり返し押すと、録画終了時間を設定できます。

⓯ **DVD／VHS切換ボタン**
DVD側またはVHS側に切り換えるときに押します。

⓰ **映像／音声入力端子**（☞48ページ）
ビデオカメラなどの映像をダビングしたいときにお使いください。

各部の名称(つづき)

本体背面

❶ **VHF／UHF入力端子**(☞**18**ページ)
VHF／UHFアンテナをつなぎます。

VHF／UHF出力端子(☞**18**ページ)
テレビのVHF／UHFアンテナ入力端子とつなぎます。

❷ **映像／音声入力(L1)端子**
(☞**20**～**22**、**48**ページ)
外部ビデオ機器の映像／音声出力端子とつなぎます。

❸ **映像／音声出力端子(DVD／VHS共用)**
(☞**19**～**22**、**49**ページ)
テレビまたは他のAV機器の映像／音声入力端子とつなぎます。

❹ **コンポーネント映像出力端子**(☞**60**ページ)
DVDからのコンポーネント映像信号が出力される専用端子です。

❺ **音声出力端子**(☞**60**ページ)
DVDからの音声信号が出力される専用端子です。

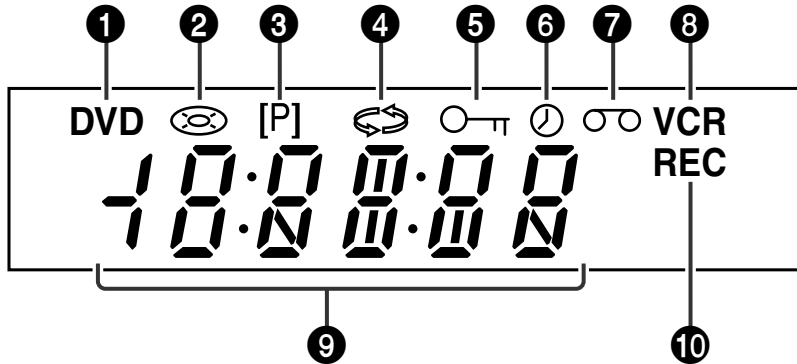
❻ **電源コード**
家庭用のコンセント(AC 100V)につなぎます。

❼ **デジタル音声出力端子(同軸)**
(☞**71**、**72**ページ)
DVDからの音声信号が出力される専用端子です。

❽ **D1／D2映像出力**(☞**60**ページ)
DVDからのコンポーネント映像信号が出力される専用端子です。

❾ **S映像出力端子**(☞**60**ページ)
DVDからのS映像出力専用端子です。

❿ **光デジタル音声出力端子(角型)**
(☞**71**、**72**ページ)
DVDからのデジタル音声信号が出力される専用端子です。

本体表示窓

❶ **DVD表示**
DVD側操作のときに点灯します。

❷ **ディスク( )表示**
ディスクが入っているときに点灯します。

❸ **プログレッシブスキャン([P])表示**
プログレッシブスキャンモードがオンのとき点灯します。

❹ **リピートモード( )表示**
リピートモードのときに点灯します。

❺ **チャイルドロック( )表示**
チャイルドロックを設定したときに点灯します。

❻ **タイマー( )表示**
録画予約設定終了後に点灯します。

❼ **テープ( )表示**
VHSテープが入っているときに点灯します。

❽ **VCR表示**
VHS側操作のときに点灯します。

❾ **カウンターチャンネル表示**
テープの走行時間·チャンネル番号·時計·録画スピードなどを表示します。

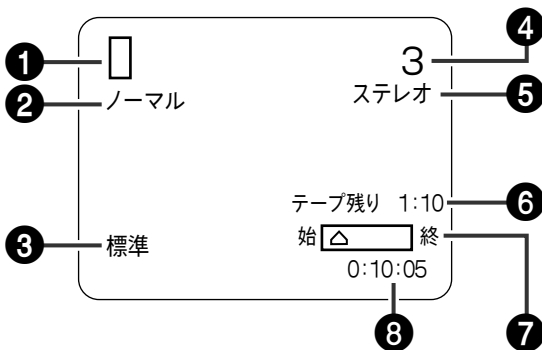
❿ **REC表示**
録画中のときに点灯します。

テレビ画面表示(VHS)

リモコンの[画面表示]を押すと現在の状態を表示します。もう一度押すと消えます。

- DVD側の画面表示については、「ディスク情報を表示する·変更する」(☞**59**ページ)をご覧ください。

❶ **テープ走行**

❷ **音声出力**
(☞**46** ページ)

❸ **録画スピード**

❹ **チャンネル番号**

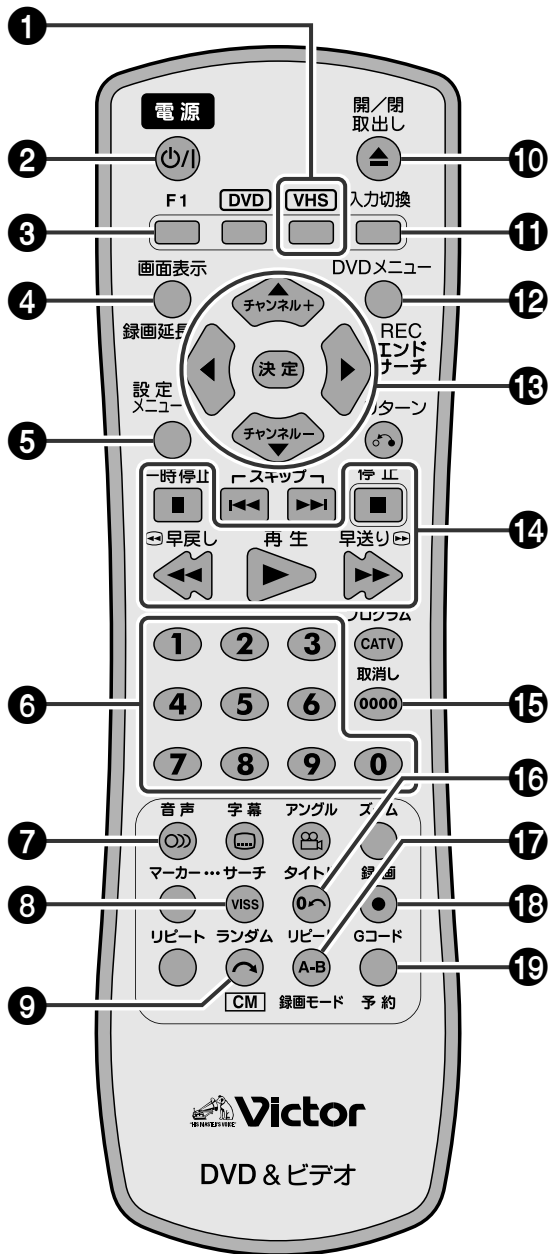
❺ **受信放送の音声**

❻ **テープ残量**

❼ **テープ走行位置**

❽ **カウンター**

- ❷は設定メニューの「モード設定 ➡ オンスクリーン/ガイド」が「入」になっているときに表示します。同時にすべて表示されることはありません。
- テープの走行時間、チャンネル番号や録画スピードなどが本体表示でわかりにくいときは、テレビ画面表示をご使用になることをおすすめします。

リモコン(VHS操作部)

❶ **VHSボタン**
VHSを操作するときに押します。

❷ **電源ボタン**

❸ **F1ボタン**(☞**50**ページ)
チャイルドロックを設定します。

❹ **画面表示ボタン**(☞**15、45**ページ)

❺ **設定メニューボタン**(☞**31～37**ページ)

❻ **数字ボタン(0～9)**
リモコンコード入力(☞**24**ページ)
地域番号入力(☞**25**ページ)
受信チャンネル入力(☞**31、32**ページ)
日付·時刻入力(☞**35**ページ)
Gコード予約(☞**42**ページ)
録画日入力(☞**43**ページ)

❼ **音声ボタン**(☞**46**ページ)

❽ **サーチ(VISS)ボタン**(☞**50**ページ)

❾ **CM(⌒)ボタン**(☞**39**ページ)

❿ **開閉/取出しボタン**
VHSテープを取り出すとき押します。

⓫ **入力切換ボタン**(☞**40**ページ)
外部入力を選ぶとき押します。

⓬ **RECエンドサーチボタン**(☞**50**ページ)

⓭ **メニュー操作ボタン**(☞**31～37**ページ)
メニュー(▲/▼/◀/▶)ボタン
チャンネル＋/－ボタン
決定ボタン

⓮ **テープ操作ボタン**(☞**38～41**ページ)
一時停止(**II**)、停止(**■**)、早戻し(**◀◀**)、
再生(**▶**)、早送り(**▶▶**)

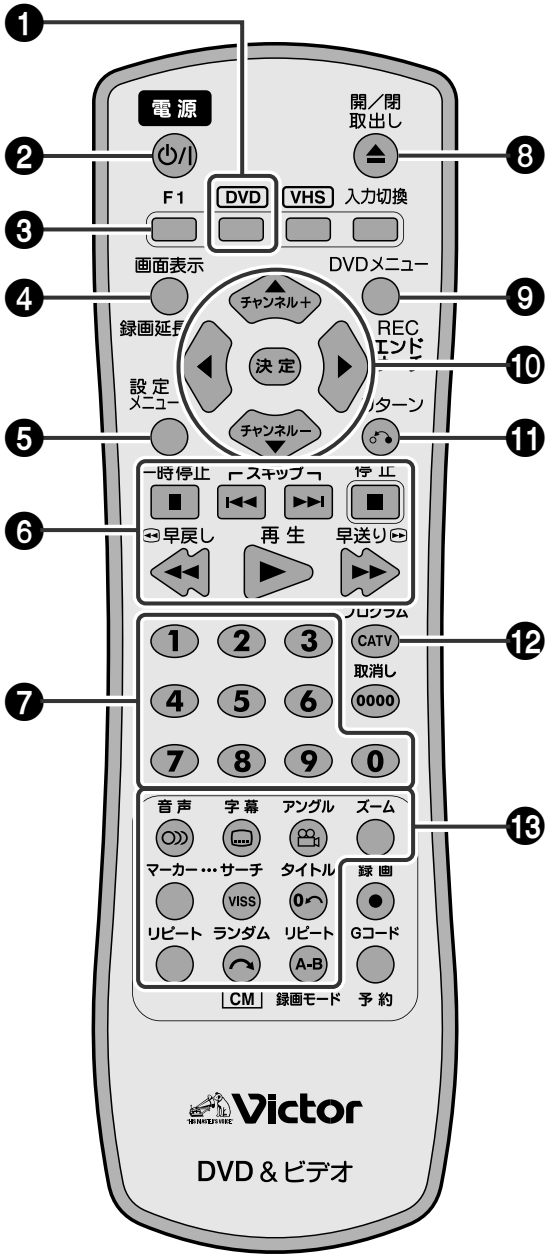
⓯ **取消し(0000)ボタン**(☞**50**ページ)

⓰ **タイトル(0⌒)ボタン**(☞**50**ページ)

⓱ **録画モードボタン**(☞**40、42、43**ページ)

⓲ **録画(●)ボタン**(☞**40、41**ページ)

⓳ **Gコード/予約ボタン**(☞**42、43**ページ)

リモコン（DVD操作部）

❶ **DVDボタン**
DVDを操作するときに押します。

❷ **電源ボタン**

❸ **F1 ボタン**（☞**50**ページ）
チャイルドロックを設定します。

❹ **画面表示ボタン**（☞**65、66**ページ）
トラック情報を表示するときに押します。

❺ **設定メニューボタン**（☞**51**ページ）

❻ **ディスク操作ボタン**（☞**55**～**59**ページ）
一時停止（❚❚）、スキップ（⏮／⏭）、停止（■）、早戻し（◀◀）、再生（▶）、早送り（▶▶）

❼ **数字ボタン（0～9）**
トラック番号入力（☞**59、67**ページ）
シーン入力（☞**64**ページ）

❽ **開閉／取出しボタン**（☞**55**ページ）

❾ **DVDメニューボタン**（☞**58**ページ）
DVDメニューやビデオCDのメニュー画面を表示させるときに押します。

❿ **メニュー操作ボタン**（☞**51、58、61**～**69**ページ）
メニュー（▲／▼／◀／▶）ボタン
決定ボタン

⓫ **リターン（↶）ボタン**（☞**67**ページ）

⓬ **プログラムボタン**（☞**66**ページ）
CD/MP3のプログラム再生をします。

⓭ **ディスク操作ボタン**
音声（⦾）ボタン（☞**61**ページ）
字幕（▭）ボタン（☞**62**ページ）
アングル（⎔）ボタン（☞**62**ページ）
ズームボタン（☞**63、68**ページ）
マーカーボタン（☞**64**ページ）
サーチボタン（☞**64**ページ）
タイトルボタン（☞**65、66、69**ページ）
リピートボタン（☞**63、68**ページ）
ランダムボタン（☞**63、68**ページ）
リピート（A-B）ボタン（☞**64**ページ）

アンテナとテレビをつなぐ

アンテナ側

VHF/UHF混合のアンテナを接続する場合

VHF アンテナ　UHF アンテナ

壁のアンテナ端子

VHF/UHF別々のアンテナを接続する場合

VHF アンテナ　UHF アンテナ

壁のアンテナ端子

アンテナコード

300Ωフィーダー線

VHF/UHF混合器
(別売:VZ-84)

アンテナ入力へ

VHF/UHF 入力 アンテナから

入力 L1

VHS/DVD出力

音声

左

映像

VHF/UHF 出力 テレビへ

本機
背面側

アンテナ出力へ

アンテナ
コネクター
(別売:VZ-71A)

テレビ側

アンテナコード
(別売:VX-22A
/VX-23A)

75ΩF型
端子付
テレビへ
接続する場合

テレビ

VHF/UHF

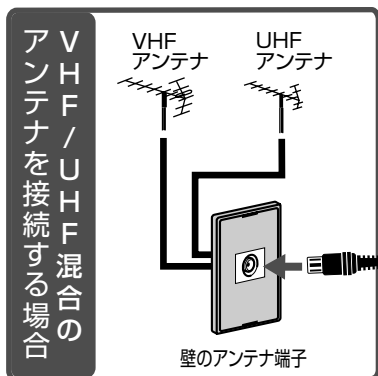
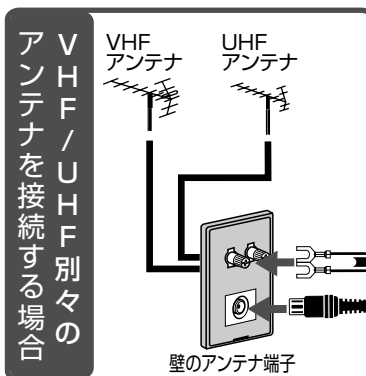
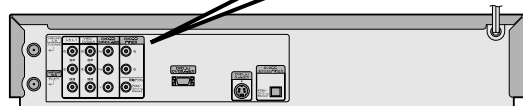
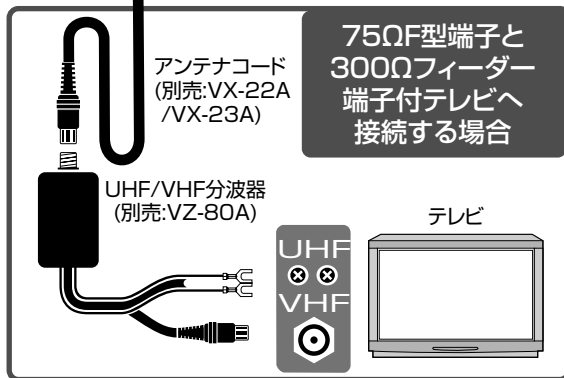
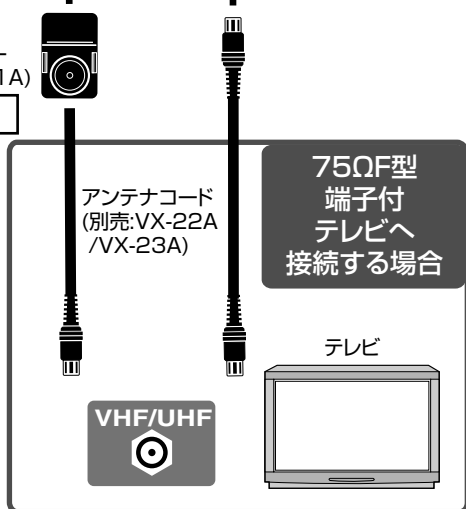
アンテナコード
(別売:VX-22A
/VX-23A)

75ΩF型端子と
300Ωフィーダー
端子付テレビへ
接続する場合

UHF/VHF分波器
(別売:VZ-80A)

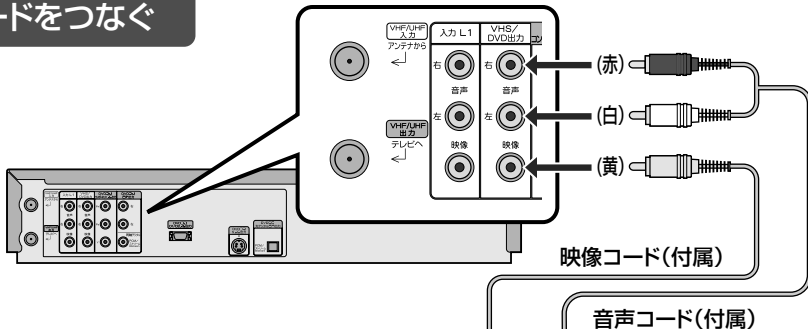
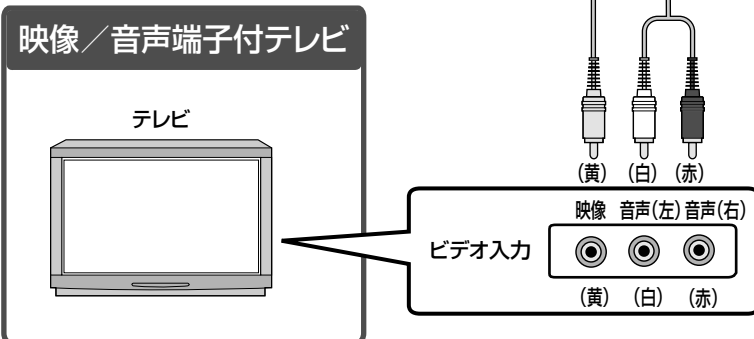
UHF

VHF

テレビ

- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

アンテナは

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

映像／音声コードをつなぐ

メモ
本機からの映像を見るときは

- 本機をつないでいるテレビの「入力切換(ビデオ1、ビデオ2など)」を選びます。
  選びかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

電源プラグはすべての接続が終わってから壁のコンセントに差し込みます。

同軸ケーブルの加工・組立

設置と準備

CATVをつなぐ

CATV 放送を見るときは

図のように、ホームターミナル（アダプター）をつないでください。
お使いのホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。

テレビ側

テレビ

（赤）（白）（黄）
映像／音声
入力端子へ
音声コード（付属）
映像コード（付属）
映像／音声
出力端子へ
（赤）（白）（黄）

本機背面側

入力 L1
VHS／DVD出力
右
音声
左
映像

VHF/UHFアンテナ
入力端子へ

（赤）（白）（黄）
映像／音声
入力端子へ

:信号の流れ

映像／音声コード（別売）

ホームターミナル側

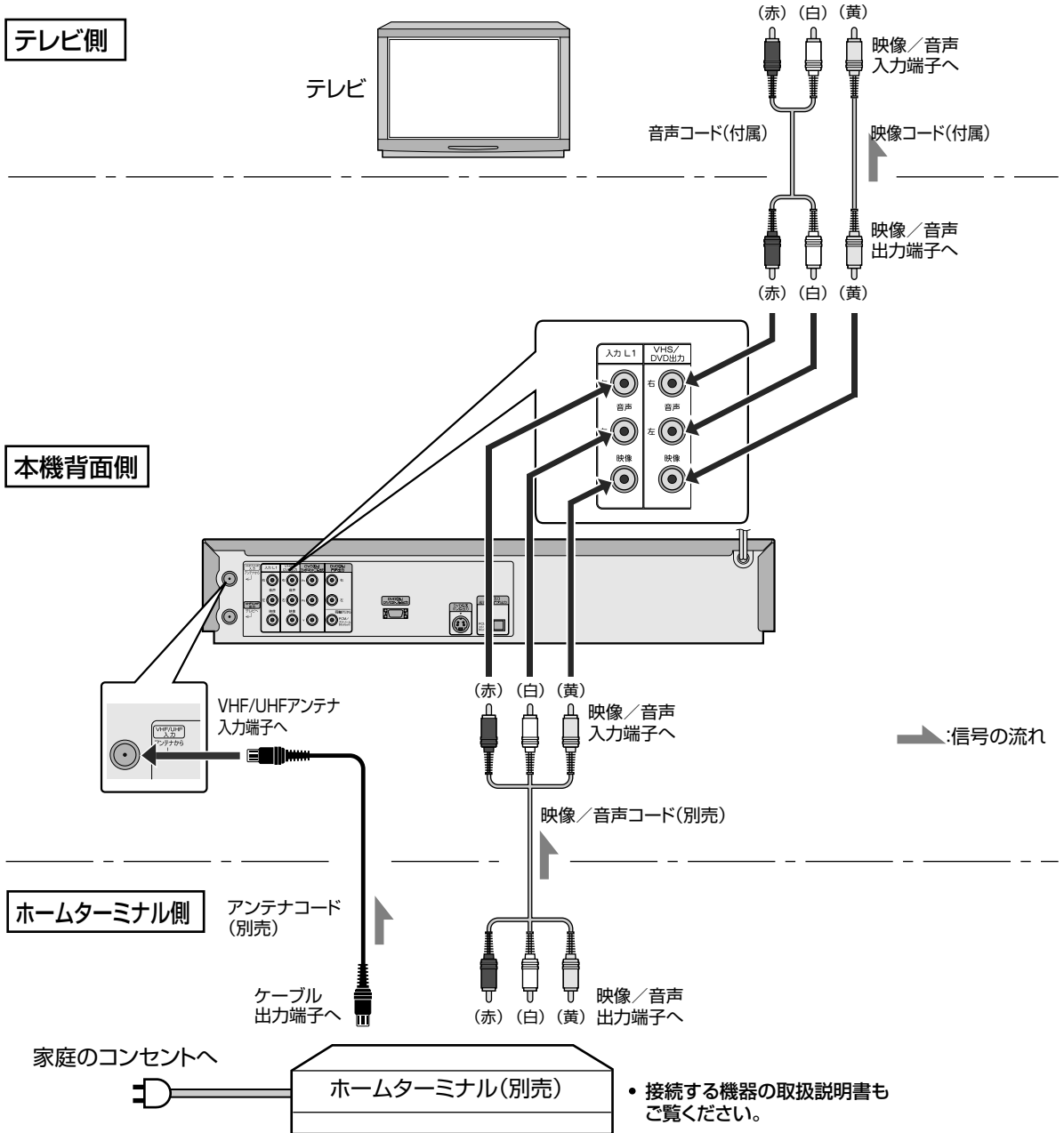
アンテナコード
（別売）

ケーブル
出力端子へ

（赤）（白）（黄）
映像／音声
出力端子へ

家庭のコンセントへ

ホームターミナル（別売）

- **接続する機器の取扱説明書もご覧ください。**

CATV 放送を受信するには

1. アンテナコード（別売）で本機の VHF/UHF アンテナ入力端子とホームターミナルまたは CATV チューナーのケーブル出力端子を接続します。
2. 受信できる CATV 放送を空いているチャンネルに割り当てます。（☞**32** ページ）

CATV 放送を見るときは

1. ホームターミナルで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機の［入力切換］を押し、接続した入力を選びます。
   前面の入力は「F1」、背面の入力は「L1」を選びます。
   ホームターミナルに映像／音声出力端子がない場合は、CATV 放送が受信できるビデオチャンネルを選びます。

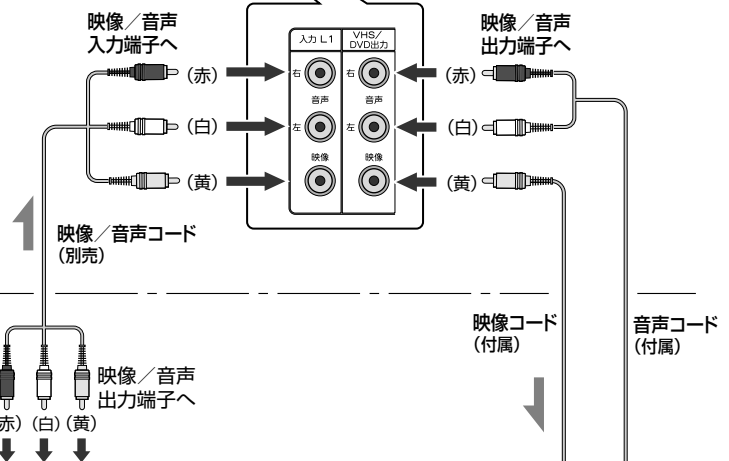
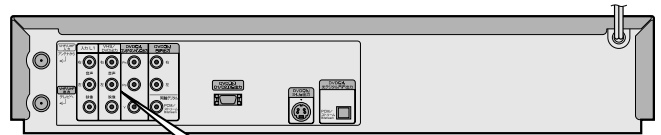
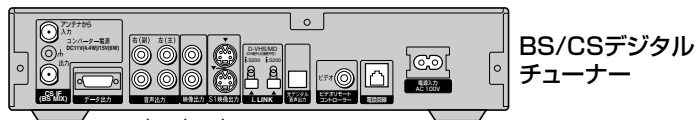
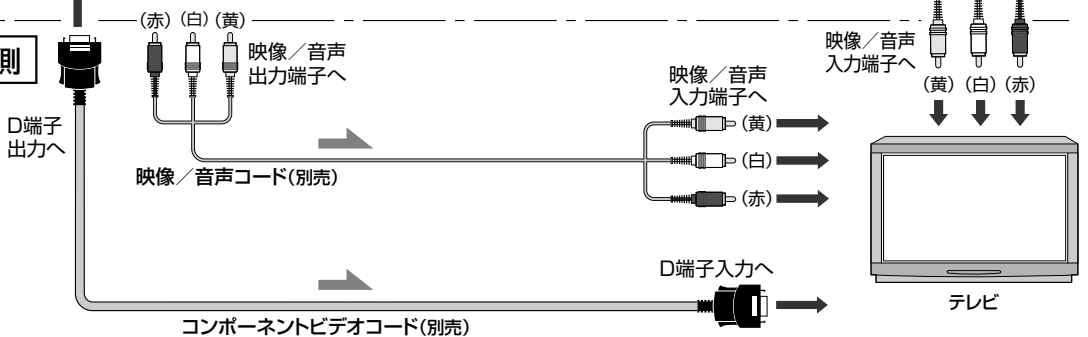
- 前面入力「F1」に接続した場合、録画予約はできません。

BSデジタルチューナー内蔵テレビをつなぐ

• 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

BS/CSデジタルチューナーをつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

メモ

デジタル CS 放送を見るには

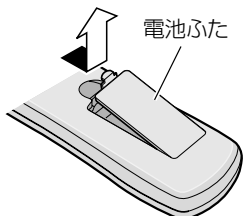
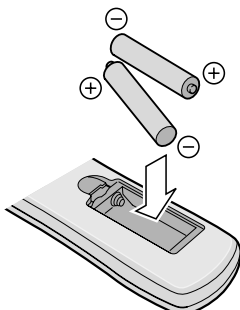
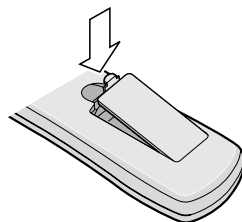
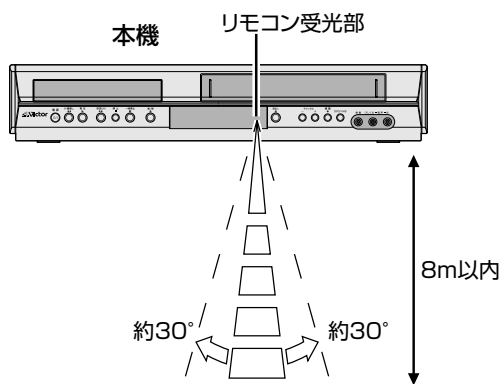
1. デジタル CS チューナーで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機の［入力切換］を押し、接続した入力を選びます。
   前面の入力は「F1」、背面の入力は「L1」を選びます。上図のように接続したときは「L1」を選びます。

デジタル CS 番組を録画するには

1. つめのついたテープを入れます。
2. デジタル CS チューナーの電源を入れます。
3. 録画したいデジタル CS 放送のチャンネルを選びます。
4. 本機の［入力切換］を押し、接続した入力を選びます。
   前面の入力端子：「F1」、背面の入力端子：「L1」
5. ［録画モード］を押して、録画スピードを選びます。
6. ［録画（●）］を押します。

- 前面入力「F1」に接続した場合、録画予約はできません。

リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

リモコンの操作範囲

乾電池交換の目安は

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

乾電池を交換するときは

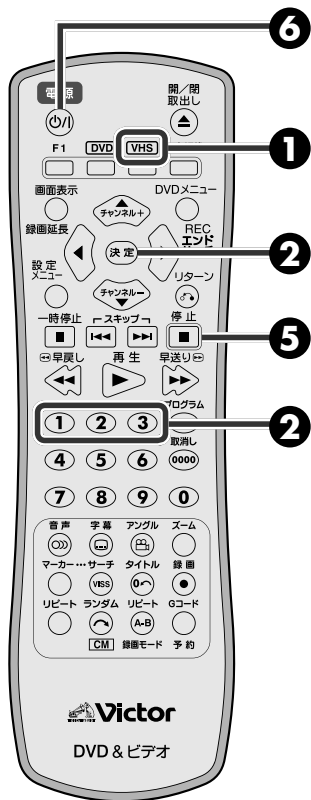
- 単４乾電池をご使用ください。
- ２本とも新しいものと交換してください。（使用済みのものを混ぜないでください）
- 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。

乾電池についてのご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、５分以上たってから再度乾電池を入れ、操作してください。

リモコンの使いかた（つづき）

リモコンコードを変える

2 台以上の当社製ビデオを同じ場所で別々に操作しようとすると、お互いのリモコンの影響で正しい操作ができなくなります。
そこで、本機のリモコンコードを変えることにより、お互いに影響し合わないようにすることができます。

❶ [VHS] を押す

- 本体をVHS側にします（表示窓にVCR表示）。

❷ [決定] を押しながら、数字ボタンの[1] から[3] のうち１つを押す

[1] :「Aコード」に変更する
[2] :「Bコード」に変更する
[3] :「Cコード」に変更する

❸ 本体の [電源] を押す

- 本体の電源を「切」にします。

❹ 本体の [再生(▶)] を５秒以上押す

本体表示窓

C

- 本体表示窓に現在設定されている本体側のリモコンコードが表示されます。

❺ 本体に向けてリモコンの[停止(■)]を押す

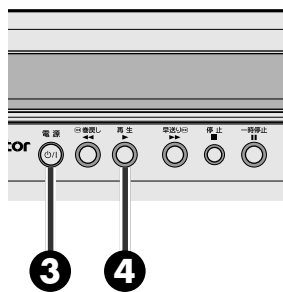
本体表示窓

A

- リモコンで設定したコードが点滅して本体に設定されます。

時計表示に変わってから

❻ [電源] を押す

- ［電源］を押して設定した機器の電源が入れば、設定は完了です。

- お買い上げ時は、リモコンも本体も「C コード」に設定されています。
- 当社製ビデオでも、C のリモコンコードに対応していない機種があります。それぞれの取扱説明書でご確認ください。

- リモコンの電池をはずすと、リモコンコードが「C」に戻ります。C コード以外に設定しているときは、もう一度設定をやり直してください。

受信チャンネルを設定する

地域番号で設定する

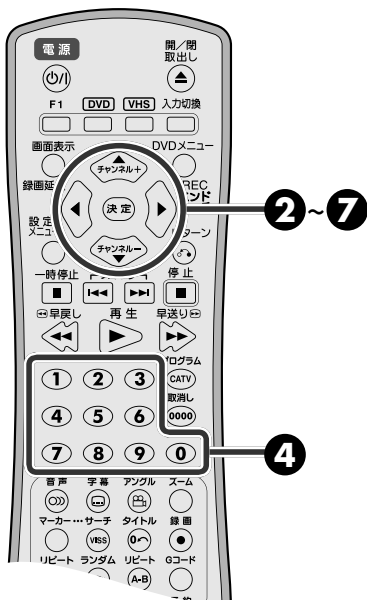
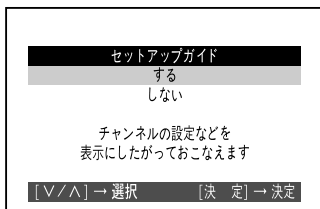
準備
- お住まいの地域の地域番号をお確かめください。(☞27 ～ 30 ページ)
- お住まいの地域番号が無いときには、お近くの地域番号を入力するか、32 ページをご覧ください。

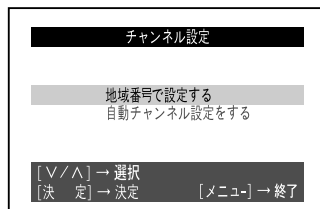
メモ

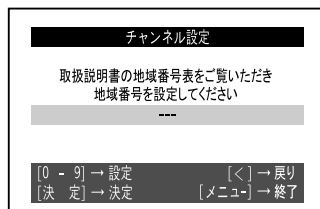
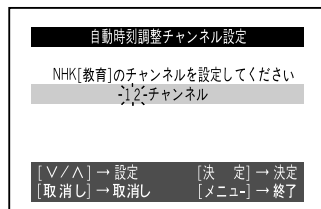
うまく受信できないチャンネルがあるときは
- お住まいの場所によっては、近隣の地域を選んだ方がうまく受信できることがあります。近県または近隣の地域を選び、もう一度設定してみてください。

「自動時刻調整チャンネル」については、「時計合わせをする」(☞35 ページ)をご覧ください。

お住まいの地域番号を入力するだけで、受信チャンネルが自動的に設定されます。地域番号でうまく受信できないときは、次ページの「自動チャンネル設定をする」をお試しください。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力 (ビデオ 1 など) を選んでください (☞12 ページ)。

❶ VHSテープを取り出してから、電源を「切」にして本体の[◀◀]を3秒以上押す

❷ [▲／▼]で「する」を選び、[決定]を押す

❸ [▲／▼]で「地域番号で設定する」を選び、[決定]を押す

❹ 数字[0～9]でお住まいの地域番号を入力し、[決定]を押す

- 修正するときは、[決定]を押す前に[◀]を押します。

❺ [▲／▼]で時報を放送しているチャンネルを選ぶ

- お住まいの地域のNHK教育テレビチャンネルを選びます。

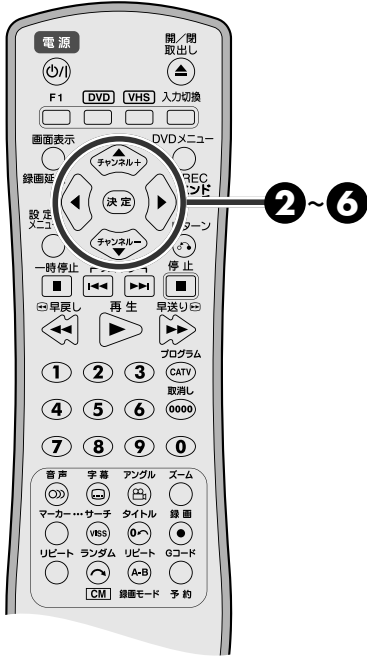
❻ [決定]を押す

- 約10秒後に受信チャンネル画面になります。

❼ [▲／▼]で受信したチャンネルを確認する

- 不要なチャンネルを飛ばしたいとき: ☞31ページ参照
- 放送局をひとつずつ追加したいとき: ☞32ページ参照
- チャンネル表示を変更したいとき: ☞33ページ参照
- 映りが悪いとき: ☞34ページ参照

受信チャンネルを設定する(つづき)

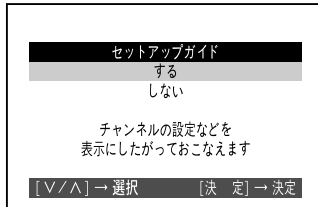
自動チャンネル設定をする

受信チャンネルを自動設定できます。
CATV放送を受信されている方におすすめいたします。

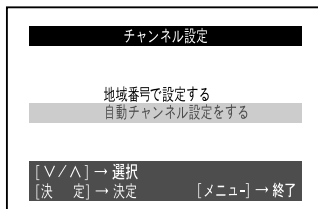
本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力（ビデオ１など）を選んでください（☞12ページ）。

❷~❻

❶ VHSテープを取り出してから、電源を「切」にして本体の[◀◀]を３秒以上押す

❷ [▲／▼]で「する」を選び、[決定]を押す

セットアップガイド
する
しない
チャンネルの設定などを
表示にしたがっておこなえます
[∨／∧]→選択　[決　定]→決定

❸ [▲／▼]で「自動チャンネル設定をする」を選び、[決定]を押す

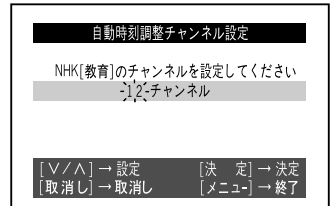
チャンネル設定
地域番号で設定する
自動チャンネル設定をする
[∨／∧]→選択
[決　定]→決定　[メニュ-]→終了

- 「自動チャンネル設定」が実行されます。
- 自動チャンネル設定が終了すると、「自動時刻調整チャンネル設定」画面が表示されます。

❹ [▲／▼]で時報を放送しているチャンネルを選ぶ

自動時刻調整チャンネル設定
NHK[教育]のチャンネルを設定してください
-12-チャンネル
[∨／∧]→設定　[決　定]→決定
[取消し]→取消し　[メニュ-]→終了

- お住まいの地域のNHK教育テレビチャンネルを選びます。

❺ [決定]を押す

時刻あわせをしてください

- 約10秒後にテレビ画面になります。

❻ [▲／▼]で受信したチャンネルを確認する

- 不要なチャンネルを飛ばしたいとき：
☞31ページ参照
- 放送局をひとつずつ追加したいとき：
☞32ページ参照
- チャンネル表示を変更したいとき：
☞33ページ参照
- 映りが悪いとき：
☞34ページ参照

メモ　CATV放送について

- お買い上げ時には、CATV放送のチャンネルは受信できない状態になっています。また、CATV放送のチャンネルは「地域番号で設定する」では設定されません。
- CATV放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル（アダプター）の使用が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は前面外部入力「F1」、背面外部入力「L1」にします。
- くわしくは、CATV放送会社にお問い合わせください。

「自動時刻調整チャンネル」については、「時計合わせをする」(☞35ページ)をご覧ください。

地域番号一覧表

この表は「地域番号で設定する」(☞**25**ページ)の手順❹で入力する地域番号表です。お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。(☞**32**ページ)

この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

	地域番号	放送局名・受信チャンネル		
		1	2	
都道府県名	地域名(対応都市) 地域番号	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	受信チャン

映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

(2007年4月現在)

	地域番号	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別) 001	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	小樽 002		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭川 003		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33
	名寄 004			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内 005		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10		
	室蘭 006		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧 007		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	函館 008		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
	帯広 009		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路 010		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	網走 011	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	北見 012		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
青森	青森(弘前) 013	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八戸 014		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	むつ 015				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡 016				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
	釜石 017		NHK総合 2				テレビ岩手 58		岩手めんこい 60	岩手朝日 62	岩手放送 10		NHK教育 12
	二戸 018		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台 019	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
	石巻 020	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
	気仙沼 021		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋田 022		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
	大館 023				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
	大曲 024		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビユー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビユー山形 22				山形テレビ 39
	米沢 027		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビユー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島(郡山) 028		NHK教育 2		テレビユー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
	いわき 029		テレビユー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
	会津若松 030	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビユー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		

次ページへ続く

受信チャンネルを設定する（つづき）

映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

	地域番号		放送局名·受信チャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸(勝田)	031	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
茨城	日立	032	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮	033	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 41	とちぎテレビ 31	テレビ東京 44
栃木	矢板	034	NHK総合 40		NHK教育 30	日本テレビ 36		TBS 42		フジテレビ 45		テレビ朝日 59	とちぎテレビ 33	テレビ東京 61
群馬	前橋 (伊勢崎·高崎)	035	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
群馬	桐生	036	NHK総合 51		NHK教育 57	日本テレビ 53	群馬テレビ 41	TBS 55	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
埼玉	さいたま (三郷·越谷·狭山·草加·所沢·新座·上尾·朝霞·入間·岩槻·大宮·春日部·川口·川越)	037	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
埼玉	熊谷	038	NHK総合 51		NHK教育 35	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 30	テレビ東京 61
埼玉	秩父	039	NHK総合 14		NHK教育 49	日本テレビ 16		TBS 18		フジテレビ 29		テレビ朝日 38	テレビ埼玉 47	テレビ東京 44
千葉	千葉 (我孫子·市川·市原·浦安·柏·木更津·佐倉·流山·習志野·野田·船橋·松戸·八千代)	040	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
千葉	銚子	041	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区 (昭島·青梅·小金井·小平·立川·調布·東久留米·東村山·日野·府中·武蔵野·三鷹)	042	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
東京	八王子	043	NHK総合 33	MXテレビ 40	NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 31		テレビ朝日 45		テレビ東京 62
東京	多摩	044	NHK総合 49	MXテレビ 61	NHK教育 47	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57		テレビ東京 59
神奈川	*横浜1 (横浜の一部)	045	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62
神奈川	*横浜2 (横浜·厚木·海老名·鎌倉·川崎·相模原·座間·藤沢·町田·大和·横須賀)	046	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12
神奈川	平塚(茅ヶ崎)	047	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43
神奈川	秦野	048	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59
神奈川	小田原	049	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62
山梨	甲府	050	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野1	051		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
長野	長野2	052		NHK総合 2	長野朝日 20		テレビ信州 30		長野放送 38		NHK教育 9		信越放送 11	
長野	松本	053		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40	
長野	飯田	054			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
長野	岡谷·諏訪	055				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟(長岡)	056			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
新潟	上越	057	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		
富山	富山	058	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
富山	高岡	059	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42
石川	金沢(小松)	060		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
石川	七尾	061	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井	062			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
福井	敦賀	063						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12
岐阜	岐阜(大垣)	064	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
岐阜	高山	065		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12
岐阜	中津川	066				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12

ご注意

＊横浜市にお住まいのかたは、通常は**「横浜 2」**をお選びください。
「横浜 2」ではうまく受信できないときに、**「横浜 1」**をお選びください。

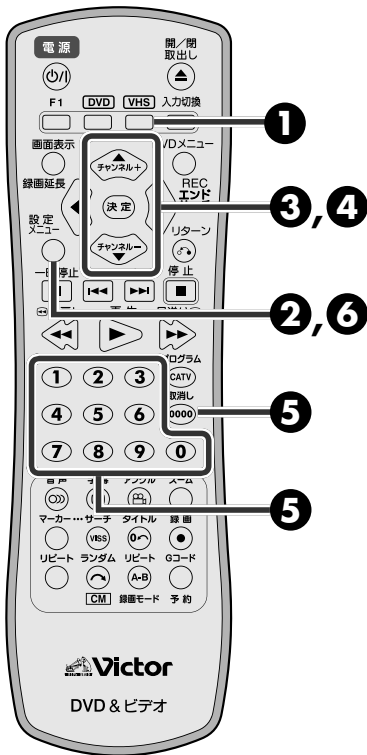
	地域番号		放送局名・受信チャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
静岡			（清水·焼津）											
静岡	静岡	067		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
静岡	浜松	068		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
静岡	富士（富士宮）	069		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
静岡	三島·沼津	070		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
静岡	島田	071	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
静岡	藤枝	072	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知			（安城·一宮·岡崎·春日井·刈谷·小牧·瀬戸·半田）											
愛知	名古屋	073	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
愛知	豊橋（豊川）	074	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
愛知	豊田	075	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49
三重			（鈴鹿·松坂·四日市）											
三重	津	076	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
三重	伊勢	077	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61	
三重	名張	078	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56	
滋賀	大津	079		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
滋賀	彦根	080		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都（宇治）	081		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
京都	舞鶴	082		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
京都	福知山	083		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪			（池田·和泉·茨木·門真·河内長野·岸和田·堺·吹田·大東·高槻·豊中·富田林·寝屋川·羽曳野·東大阪·枚方·松原·守口·八尾）											
大阪	大阪	084		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸	085		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 31		朝日放送 41		関西テレビ 43		読売テレビ 47	テレビ大阪 19	NHK教育 45
兵庫	神戸灘	086		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
兵庫	川西	087		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
兵庫	三木	088		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
兵庫	姫路	089		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
兵庫	明石（加古川）	090		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良（橿原）	091		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
奈良	五條	092		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山	093		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
和歌山	海南·田辺	094		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥取	095	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK 教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		
島根	松江	096	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
島根	浜田	097		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5	山陰中央 58			NHK教育 9			
岡山	岡山（倉敷）	098	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
岡山	津山	099		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
岡山	笠岡	100		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 22	山陽放送 6			西日本放送 34	瀬戸内海放送 55	岡山放送 60	
広島	広島	101	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
広島	福山	102	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
広島	尾道	103	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
広島	呉	104	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	

次ページへ続く

受信チャンネルを設定する（つづき）

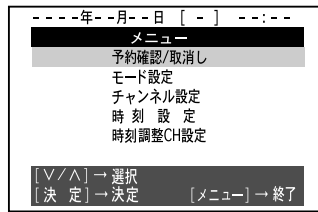
映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

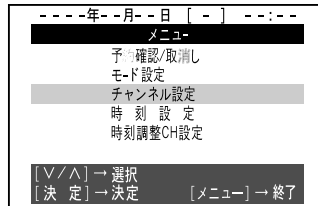
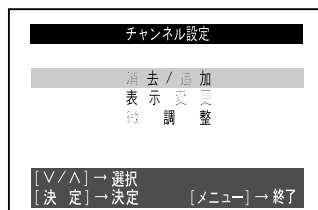
	地域番号		放送局名・受信チャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
山口	山口（徳山·防府）	105	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
	下関	106	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
	宇部	107	NHK教育 55				山口朝日 24		テレビ山口 44		NHK総合 58	テレビ西日本 10	山口放送 61	
	岩国	108	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 62		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	109	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	110	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
	丸亀	111	TVせとうち 46		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 52		西日本放送 50		山陽放送 48	
愛媛	松山	112		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
	新居浜	113		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 16	
	今治	114		NHK教育 55		あいテレビ 27		NHK総合 58		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
	宇和島	115	NHK教育 1			あいテレビ 25		NHK総合 6		愛媛放送 27	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知	116				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡	117	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
	久留米	118	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
	大牟田	119	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
	北九州	120		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	行橋	121		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀	122		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎	123	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	佐世保	124		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
	諫早	125	NHK教育 51		NHK総合 59		長崎放送 62		長崎国際 32		長崎文化 56		テレビ長崎 39	
熊本	熊本（八代）	126		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分（別府）	127			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
	中津	128			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎（都城）	129						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡	130		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島	131	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根	132		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋	133		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇（沖縄）	134		NHK総合 2			琉球朝日 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

不要な放送局を受信できないようにする（チャンネル消去）

不要な放送局や、映りが悪すぎて見えない放送局などを受信できないように設定します。

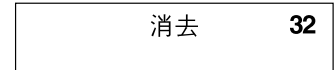
本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力（ビデオ1など）を選んでください（☞12ページ）。

❶ [VHS]を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。

❷ [設定メニュー]を押す

❸ [▲／▼]で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す

❹ [▲／▼]で「消去／追加」を選び、[決定]を押す

- テレビ番組を表示し、約3秒後にブルー画面に切り換わります。

❺ 数字[0～9]で、消去するチャンネルを選び[取消し]を押す

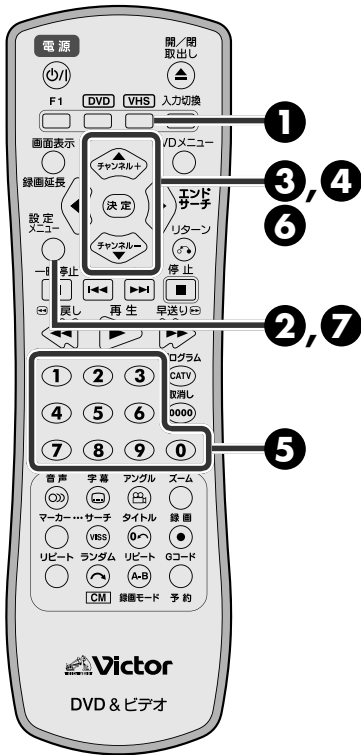
消去 **32**

- 他のチャンネルを消去するときは、手順❺をくり返します。

❻ [設定メニュー]を押す

- 設定を終了します。

- チャンネルを消去しても、数字ボタンで選局することができます。

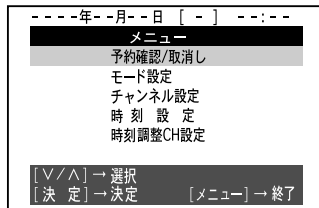
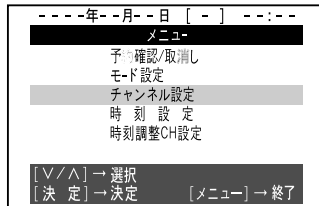
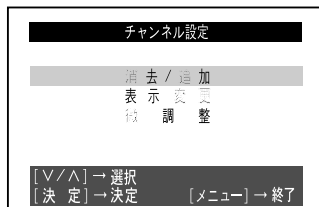
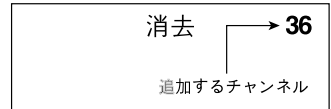
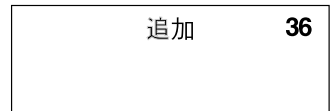
放送局をひとつずつ設定する（チャンネル追加）

次のようなときは、放送局をひとつずつ受信できるように設定してください。
- 「地域番号で設定する」では受信できない放送局があるとき
- CATV 放送のチャンネルを受信できるようにしたいとき
- 新しく放送局が開局されたとき

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力（ビデオ1など）を選んでください（☞12ページ）。

❶ [VHS] を押す

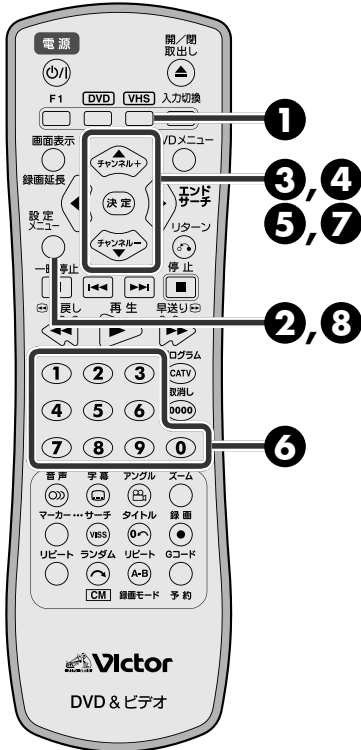
- 本体表示窓にVCRを表示します。

❷ [設定メニュー] を押す

❸ [▲／▼] で「チャンネル設定」を選び、[決定] を押す

❹ [▲／▼] で「消去／追加」を選び、[決定] を押す

- テレビ番組を表示し、約3秒後にブルー画面に切り換わります。

❺ 数字 [0～9] で、追加するチャンネルを選ぶ

❻ [決定] を押す

- 他のチャンネルを追加するときは、手順❺～❻をくり返します。

❼ [設定メニュー] を押す

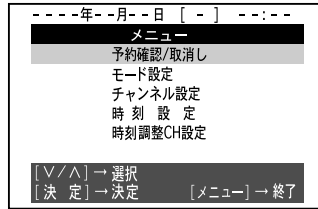
- 設定を終了します。

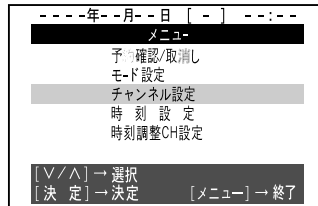
- お好みのチャンネル番号に変えたいときは、☞33 ページの操作をしてください。

チャンネル表示を変更する

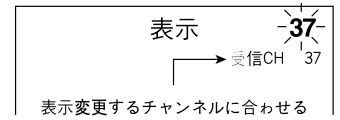
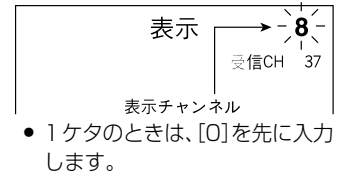
テレビと同じチャンネル表示に合わせたいときなどに設定してください。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞**12**ページ)。

❶ [VHS]を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。

❷ [設定メニュー]を押す

❸ [▲／▼]で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す

❹ [▲／▼]で「表示変更」を選び、[決定]を押す

❺ [▲／▼]で表示を変更するチャンネルを選ぶ

❻ 数字[0～9]でチャンネル表示を入力する

- 1ケタのときは、[0]を先に入力します。

❼ [決定]を押す

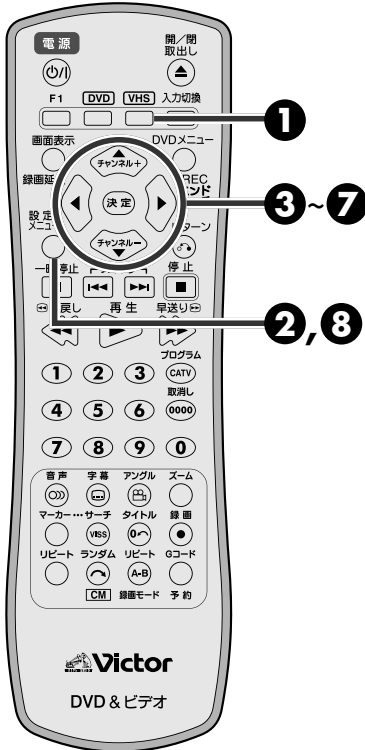
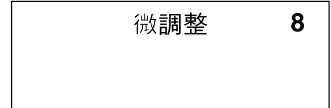
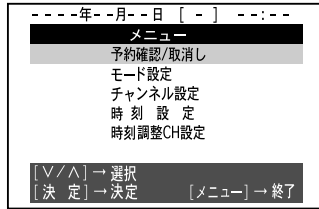
- 他のチャンネルを変更するときは、手順❺～❼をくり返します。

❽ [設定メニュー]を押す

- 設定を終了します。

受信チャンネルを設定する（つづき）

映りの悪いチャンネルを調整する

ノイズの多いチャンネルをよりクリアーに調整する機能があります。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力（ビデオ1など）を選んでください（☞12ページ）。

❶ [VHS]を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。

❷ [設定メニュー]を押す

❸ [▲／▼]で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す

❹ [▲／▼]で「微調整」を選び、[決定]を押す

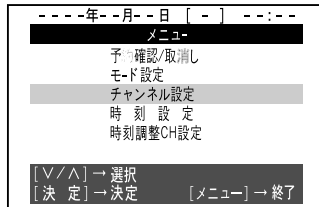
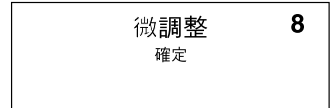
❺ [▲／▼]で微調整するチャンネルを選ぶ

微調整	8

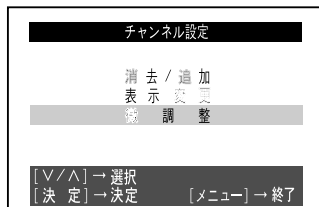
- テレビ番組を表示し、約3秒後にブルー画面に切り換わります。

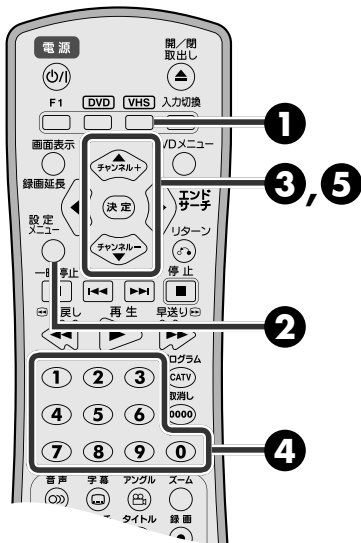
❻ [◀／▶]で映像を見ながら微調整する

❼ [決定]を押す

微調整	8
確定	

- 続けて微調整するときは、手順❺~❼をくり返します。

❽ [設定メニュー]を押す

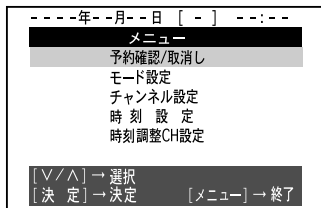
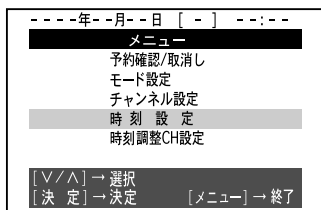
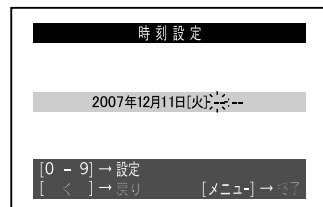
- 設定を終了します。

時計合わせをする

日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。
正しい日付と時刻を設定してください。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞12ページ)。

❶ [VHS] を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。

❷ [設定メニュー] を押す

❸ [▲/▼]で「時刻設定」を選び、[決定] を押す

❹ 数字[0〜9] で「年」「月」「日」「時」「分」の順に入力する

- 「年」は西暦の下2ケタを入力します。
- 1ケタの場合は、最初に[0]を入力します。
- 「時」は24時間表示です。
- 修正するときは、[◀]で修正するところまで消去し、再入力します。

❺ [決定] を押す

- 時計が動き始めます。
- 受信画面に戻ります。

メモ

- 受信チャンネル設定で設定した「自動時刻調整チャンネル」は時計合わせをしないと機能しません。

自動時刻調整チャンネルについて

- 毎日7、12、19時に、NHK教育テレビの時報が放送されているかどうかを確認し、時報が放送されると、時計の誤差を自動修正します。
- 平成19年4月現在、時報は1日1回、正午のみです。
- 次のようなときは、自動時刻調整(ぴったりクロック)は働きません。
  - ・時報が放送されていないとき
  - ・本機の電源が入っているとき
  - ・現在時刻とのずれが±2分以上あるとき
  - ・時報のバックに音楽が入っているとき
  - ・高校野球シーズンなどで、時報が放送されていないとき
  - ・「モード設定」の「CSオフスルー」を「入」に設定しているとき
- 停電などで表示窓が「−−:−−」表示しているときは、日付と時刻を再度設定してください。

メニューの使いかた

メニュー画面一覧表

予約確認／取消し画面

(☞44 ページ)

----年--月--日 [-] --:--
メニュー
予約確認/取消し
モード設定
チャンネル設定
時 刻 設 定
時刻調整CH設定
[∨/∧]→選択
[決 定]→決定 [メニュー]→終了

モード設定画面

(☞37 ページ)

チャンネル追加画面

(☞31 ページ)

時刻設定画面

(☞35 ページ)

自動時刻調整チャンネル設定画面

(☞25 ページ)

モード設定の内容について

設定メニューの「モード設定」画面は、オフタイマーやオンスクリーン／ガイドの設定などを決めるときに使います。ここでは、設定の内容とお買い上げ時の状態を説明します。

モード設定画面

例：オンスクリーン／ガイドを「切」にする。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力（ビデオ 1 など）を選んでください（☞**12** ページ）。

❶ [VHS]を押す

❷ [設定メニュー]を押す

❸ [▲／▼]で「モード設定」を選び、[決定]を押す

❹ [▲／▼]で「オンスクリーン／ガイド」を選ぶ

❺ [◀／▶]で「切」を選ぶ

- 選んだモードに(●)マークが付きます。

❻ [設定メニュー]を押して終了する

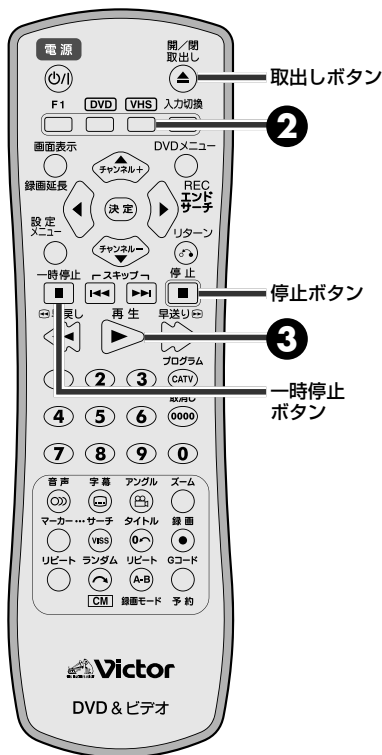
設置と準備

（網かけ）お買い上げ時の設定状態です

項　目	設定内容	
オフタイマー	何も操作しないときに電源が自動的に切れる時間を設定します。	
	切	電源は切れません。
	2時間	2時間何も操作しないと電源が自動的に切れます。
	6時間	6時間何も操作しないと電源が自動的に切れます。
ジャストレック	標準（SP）モードで録画予約中にテープ残量が少なくなった時、自動的に録画スピードを「3 倍（EP)」に変更します。	
	切	この機能を使用しません。
	入	録画スピードが「標準（SP)」で録画予約中にテープ残量が足りなくなると自動的に「3 倍（EP)」に切り換わり、録画切れを防ぎます。
テープ選択	使用するテープの設定をします。正しく設定されていない場合、テープ残量やジャストレックが正しく動作しません。	
	120	T-120 または T-120 より短いテープを使用するとき
	160	T-140、T-160 テープを使用するとき
	180	T-180 テープを使用するとき
オンスクリーン / ガイド	操作情報およびお助けガイドの表示についての設定をします。	
	入	操作情報やお助けガイドが表示されます。
	切	お助けガイドは表示されません。ただし、[画面表示] を押したときには、テープ情報（カウンターや録画モードなど）は表示されます。
ブルーバック	ブルーバックの設定をします。	
	入	無信号のときにブルーバックにします。
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」を選びます。
CS オフスルー	本機の電源を切っているときに、外部入力（L1）に接続している機器の画を出力できる機能です。	
	切	本機の電源を切ると、L1 に接続した機器の映像／音声は出力されません。自動時刻調整は動作します。
	入	本機の電源を切っても、L1 に接続した機器の映像／音声が、本機を通して出力されます。また、自動時刻調整が動作しなくなります。

ビデオを見る

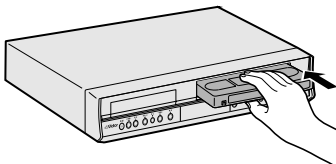
再生する

準備
- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。(☞**18**～**37** ページ)

ビデオテープを再生してみましょう。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力 (ビデオ 1 など）を選んでください (☞**12** ページ)。

❶ テープを入れる

- 本体表示窓に ⚇ マークが点灯します。
- 本機の電源が自動的に入ります。
- つめのないテープを入れると、自動的に再生が始まります。

テープの出し入れ口に手を入れないでください。
手をはさまれて、けがの原因になることがあります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [VHS] を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。
- 本体の[DVD/VHS]でも切り換えられます。

❸ [再生(▶)] を押す

- 再生が始まります。

再生を一時停止する

再生中に

[一時停止(II)]を押す

- 静止画がテレビ画面に映ります。
- 再生に戻すには、**[再生(▶)]**を押します。

再生をやめる

再生中に

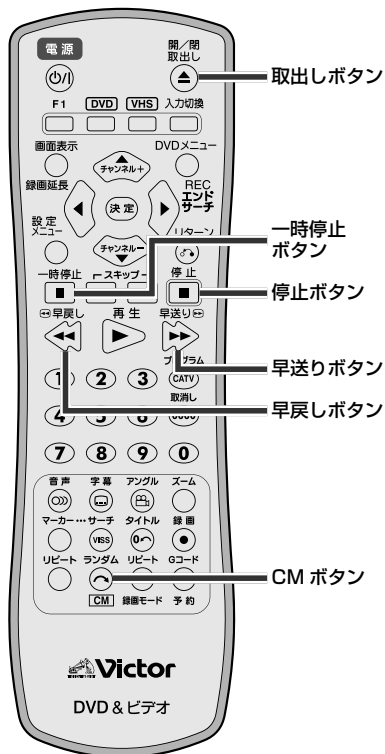
[停止(■)]を押す

テープを取り出す

[取出し(⏏)]を押す

- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻戻されます。
- 一時停止が5分以上続くと本機は自動的に停止します。

映像を見ながら早送り／巻戻しする(シャトルサーチ)

取出しボタン
一時停止ボタン
停止ボタン
早送りボタン
早戻しボタン
CM ボタン

再生中に

[早送り(►►)]を押す

早送りで再生します。もう一度押すと通常の早送りになります。

（標準）＋５倍速
（３倍）＋ 15 倍速

[早戻し(◄◄)]を押す

巻戻しで再生します。もう一度押すと通常の巻戻しになります。

（標準）－５倍速
（３倍）－ 15 倍速

- 通常再生に戻すには、**[再生(►)]**を押します。

早送り／巻戻しをする

停止中に

[早送り(►►)]を押す

早送りをします。

[早戻し(◄◄)]を押す

巻戻しをします。

- 早送り／巻戻し中に[►►]や[◄◄]を押すと、サーチ再生になります。

- **早送り／巻戻しを止めるには、[停止(■)]を押します。**
  早送り／巻戻し中は、テープ保護のため**[停止(■)]**を押してからテープが止まるまで時間がかかります。

コマ送りやスロー再生する

再生中に

[一時停止(❚❚)]を押す

- 一度押すと、静止画再生になります。
- くり返し押すと、押すごとに映像を１コマずつコマ送りで再生します。
- **[早送り(►►)]**を押すと、スロー再生を始めます。
- 巻戻し方向のコマ送りとスロー再生はできません。
- 通常再生に戻すには、**[再生(►)]**を押します。

CMを早送りして再生する(CMスキップサーチ)

再生中に

[CM]を押す

- 一度押すと、押したところからおよそ30秒間分を早送りします。一回のCMスキップサーチでは、最高６回まで(およそ３分間分)押すことができます。

ご注意

- シャトルサーチ中は音声が出ません。

再生スピードを変えたときには

- 静止画再生、コマ送り再生、スロー再生中は、音声が聞こえません。
- 静止画再生中やスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは、トラッキング調節を行なってください。(☞**45**ページ)
- シャトルサーチが５分以上続くと、本機は自動的に再生状態になります。
- 静止画再生が５分以上、スロー再生が３分以上続くと、本機は自動的に停止します。

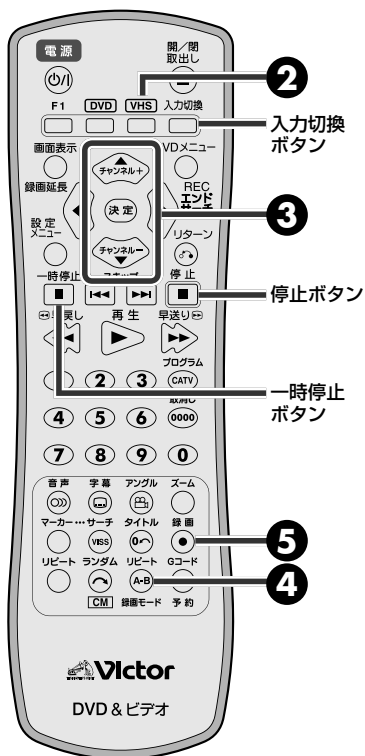
番組を録画する

録画する

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。（☞18 ～ 37 ページ）

ご注意

- 万一、本機およびビデオテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 録画中は、録画スピードの変更はできません。変更するときは、録画一時停止にしてから変更してください。

お好みのテレビ番組を録画してみましょう。
大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることをお確かめください。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力 (ビデオ 1 など）を選んでください (☞12 ページ)。

❶ つめのついたテープを入れる

- 本体表示窓に ◯◯ マークが点灯します。
- 本機の電源が自動的に入ります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [VHS]を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。

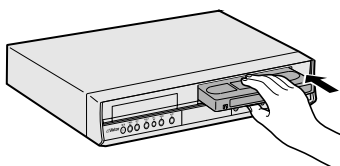
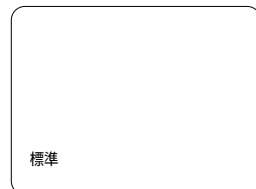
❸ [▲／▼]で番組を選ぶ

テレビ画面

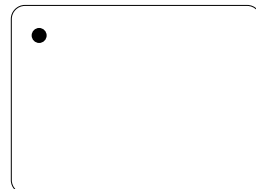
10

- 外部入力(L1、F1)を選ぶときは、**[入力切換]**を押します。
- 数字**[0～9]**でも選べます。2ケタのときは最初に**[0]**を押します。

❹ [録画モード]で録画スピードを選ぶ

標準

- 押すごと録画スピードが切り換わります。
  標準(SP)：画質を重視
  3倍(EP)：3倍長く録画

❺ [録画(●)]を押す

●

- 本体表示窓に「**REC**」が赤く点灯します。

録画を一時停止する

録画中に

[一時停止(II)]を押す

- 録画が一時停止されます。
- 再び録画を始めるには、**[再生(▶)]**を押します。

録画をやめる

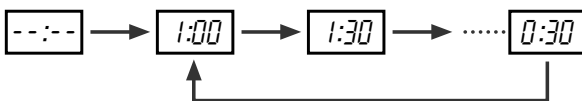
録画中に

[停止(■)]を押す

録画終了時間を設定する(ワンタッチタイマー録画)

録画中に録画終了時間を設定できます。録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。日付と時刻(☞35ページ)の設定を先に行なってください。

押すごとに、録画終了時間（最長 24 時間まで）が 30 分単位で延長されます。表示窓に録画終了時間が表示さます。

[録画(●)]を押す

- [▲／▼]で 1 分単位で設定できます。

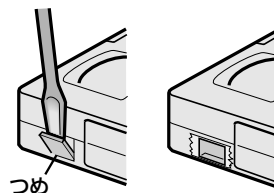
録画を途中でやめるには、**[停止(■)]**を押します。

録画中に別の番組を見る(裏番組録画)

録画中に別の番組を見ることができます。録画には影響しません。

1. テレビの電源を入れる
2. テレビの入力切換で「テレビ」を選ぶ
3. テレビ側で見たい番組を選ぶ

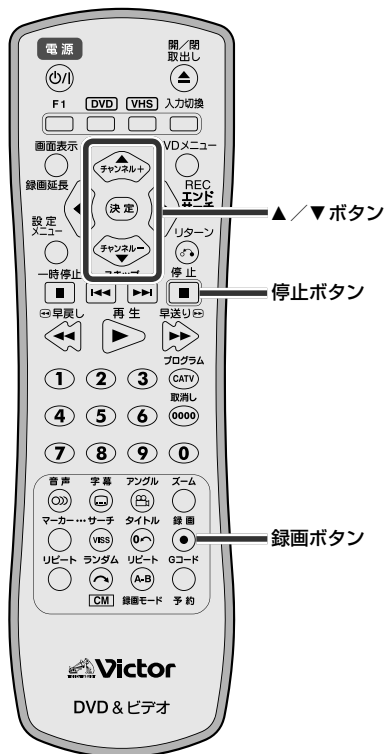
誤消去を防止するために

大切な記録を誤って消したくないときは、つめ (誤消去防止用) を折って取り除いてください。
セロハンテープを二重に張って穴をふさぐとふたたび録画できます。

ビデオカセットテープは

- ■ ビデオカセットは S-VHS、VHSタイプをお使いください。ただし、 S-VHS タイプのテープを使用しても S-VHS 録画はできません。
- ■ 録画済みテープに新しく録画するとき、前に録画されたものは消されます。
- ■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。
- ■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。
- ■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。
- ■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

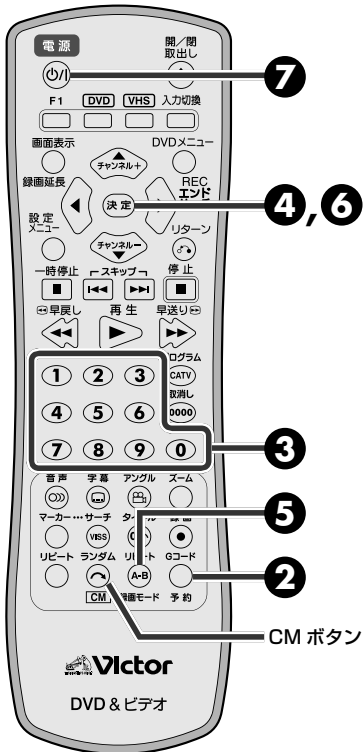
SQPB（S-VHS 簡易再生）機能について

(SQPB = S-VHS Quasi Playback)

- ■ S-VHS 方式で録画されたテープも再生することができます。ただし、S-VHS 本来の高画質にはなりません。

- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画中にテープの終わりまでくると、テープは停止し、電源が切れます。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、ワンタッチタイマー録画が優先されますのでご注意ください。
- 一時停止中に[チャンネル＋／ー]、[入力切換]を押すと、録画チャンネルが切り換わります。

Gコード®機能を使って予約する(Gコード®予約)

Gコード®予約する

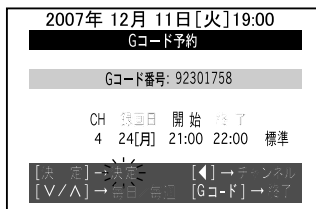
準備 ● リモコンの［VHS］を押します。

簡単な録画の予約方法です。新聞のテレビ欄などに記載されているGコード番号を使って録画を予約します。
他の予約方法とあわせて、12番組までの予約ができます。

● 時計合わせ（☞35 ページ）を先に行なってください。

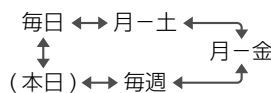
❶ つめのついたテープを入れる

❷ [Gコード／予約]を押す

❸ 数字[0～9]でGコード番号を入力する

● 番号を間違えたときは[◀]を押します。

❹ [決定]を押す

● 「CH」欄が「--」や違うチャンネルのときは、数字[0～9]でチャンネル番号を入力します。

毎日／毎週録画したいとき

● [▲／▼]をくり返し押すと録画日欄が、次のように変わります。

CMをカットして録画するとき

● [CM]を押して録画する放送方式を設定します。
　二重音声放送のとき：二
　モノラル放送のとき：モ
　ステレオ放送のとき：S
「二」、「モ」に設定した番組が、二重音声やモノラル放送で、CM(コマーシャル)がステレオ放送のとき、CMがカットして録画されます。
※放送方式を間違って設定すると、希望の番組が録画されません。また、何も録画されない場合もあります。

❺ [録画モード]を押して録画スピードを選ぶ

標準(SP)　:画質を重視するとき
3倍(LP)　:3倍長く録画するとき

❻ [決定]を押す

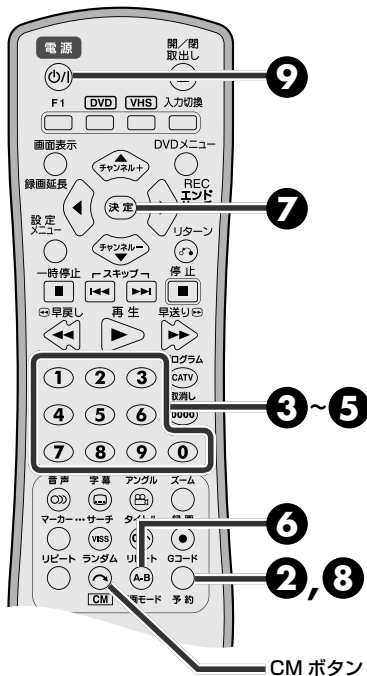
● 本体表示窓に「⏲」が赤く点灯します。

❼ [電源]を押す

● 録画予約待機状態になります。
● 電源が入っていると、録画予約は実行されません。
● ⏲が点灯しているときに、VHSテープが入っていないとOOマークが点滅します。ただし、つめのないテープが入っていてもOOマークが点灯しますのでご注意願います。

● 途中でやめるときは、[Gコード／予約]を押します。
● 録画チャンネルが外部入力のときは「CMカット」の設定はできません。
● Gコード予約のときの注意
　・Gコード予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
　・1ヵ月以内の番組を12番組まで予約できます。
　・予約が重複してもエラーメッセージは表示されませんので、注意してください。

Gコード®機能を使わずに予約する(録画予約)

録画予約をする

Gコード機能を使わずに録画予約します。
他の予約方法とあわせて、12番組までの予約ができます。
- 時計合わせ（☞**35** ページ）を先に行なってください。

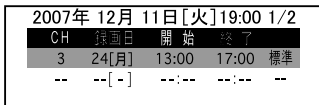
準備 ● リモコンの［VHS］を押します。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など）を選んでください(☞**12** ページ)。

❶ つめのついたテープを入れる

❷ ［Gコード／予約］を2回押す

2007年 12月 11日［火］19:00 1/2

CH	録画日	開 始	終 了	
3	24[月]	13:00	17:00	標準
--	--[-]	--:--	--:--	--

❸ 数字［0～9］で「CH（チャンネル）」を入力する

- 2ケタの場合は最初に［0］を入力します。
- 外部入力の場合は［入力切換］を押して「L1」を表示します。F1入力での設定はできません。

CMをカットして録画するとき

- ［CM］を押して録画する放送方式を設定します。
  - 二重音声放送のとき：ニ
  - モノラル放送のとき：モ
  - ステレオ放送のとき：S

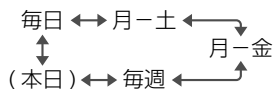
「ニ」、「モ」に設定した番組が、二重音声やモノラル放送で、CM（コマーシャル）がステレオ放送のとき、CMがカットして録画されます。

※放送方式を間違って設定すると、希望の番組が録画されません。また、何も録画されない場合もあります。

❹ 数字［0～9］で「録画日」を入力する

- 2ケタの場合は最初に［0］を入力します。

毎日／毎週録画したいとき

- ［▲／▼］をくり返し押すと録画日欄が次のように変わります。

❺ 数字［0～9］で「開始／終了時刻」を入力する

- 2ケタの場合は最初に［0］を入力します。

❻ ［録画モード］を押して録画スピードを選ぶ

標準(SP)　:画質を重視するとき
3倍(LP)　:3倍長く録画するとき

❼ ［決定］を押す

- 本体表示窓に「⏲」が赤く点灯します。
- 続けて予約するときは、手順❸～❼をくり返します。

❽ ［Gコード／予約］を押す

- テレビ画面に戻ります。

❾ ［電源］を押す

- 録画予約待機状態になります。
- 電源が入っていると録画予約は実行されません。
- ⏲が点灯しているときに、VHSテープが入っていないと◯◯マークが点滅します。ただし、つめのないテープが入っていても◯◯マークが点灯しますのでご注意願います。

- 途中でやめるときは、［Gコード／予約］を押します。

モード設定の「ジャストレック」を「入」で録画予約すると

- 録画スピードを「標準(SP)」に設定していてもテープ残量が少なくなると、自動的に「3倍(EP)」に切り換わって録画します。(☞**37**ページ)
- テープ再生時、録画スピードの切り換わり部分で映像が乱れます。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「CMカット」の設定はできません。

予約のときの注意

- 1ヵ月以内の番組を12番組まで予約できます。
- すでに12番組登録されていると、画面に「予約がいっぱいです」と表示され約10秒後に予約確認／取消し画面が表示されます。
- 予約が重複してもエラーメッセージは表示されませんので、注意してください。

予約を確認／取消しする

予約を確認／取消しする

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力（ビデオ1など）を選んでください（☞12ページ）。

録画予約設定後、テレビ画面で予約の確認／取消しができます。

❶ [電源]を押す

❷ [VHS]を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。

❸ [設定メニュー]を押す

❹ [▲／▼]で「予約確認／取消し」を選び、[決定]を押す

- 予約内容を確認します。
- 7予約以上のときは、**[▼]**をくり返し押して次の画面にします。

予約を取り消すには

[▲／▼]で取り消す予約を選び、**[取消し]**を押します。

❺ [設定メニュー]を押す

- 予約の確認／取消しを終了します。

途中でやめるときは…
- [設定メニュー]を押します。

- 予約内容の変更はできません。

映像を調節する／残り時間を調べる

映像の調節とテープの残量表示

- 本機にテープを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。
- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されるテープによっては、テープの残量が正しく表示されないことがあります。「モード設定」の「テープ選択」を正しく設定していないときも、正しく表示されません。
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が「－－－－」になったり、点滅したりすることがあります。
- 大切な記録には標準モードをおすすめします。標準モードは3倍モードよりもヘッドによるテープ上への記録の読み書き面積が大きく、長期使用や他のビデオデッキとのテープ交換再生時でもヘッドと記録部分との位置がずれにくくなります。

ご注意

- 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
- 静止画再生中やスロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。
- 標準モード以外で録画されたテープを他のビデオデッキで再生するとノイズが出る場合がありますので、自己録再生(録画したビデオデッキそのもので再生)することをおすすめします。

再生中に、映像の調節やテープの残り時間を調べることができます。

トラッキングを調節する

トラッキングとは、テープにヘッドの位置を正確に合わせ、記録信号を読み出して行く動作をいいます。
本機には、オートトラッキング機能が付いています。テープの再生を始めると自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。オートトラッキングで映像の乱れやちらつきがとれないときは、手動でトラッキングを調節します。

再生中に

[▲／▼]で、トラッキングを調節することができます。

- 本体の**[チャンネル＋／－]**でも調節できます。

静止画再生中やスロー再生中(☞39ページ)に、映像に横すじやちらつきが出るときは

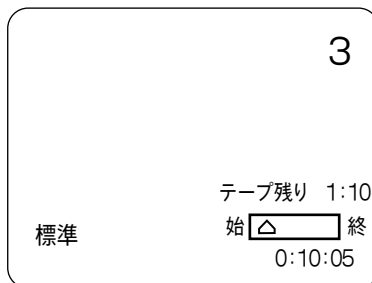
① 静止画再生中は、**[▶▶]**を押し、スロー再生にする。
② **[▲／▼]**を押し、調節する。

テープの残り時間を調べる

再生中または録画中にテープの残り時間を確認できます。

テレビ画面に表示される「テープ残り」を確認します。

再生中 または 録画中

[画面表示]を押す

- 使用するテープに合わせて「モード設定」の「テープ選択」を設定してください。(☞37ページ)

カウンターをリセットするには[取消し]を押す

本体の表示窓やテレビ画面のカウンターが、「0:00:00」に戻ります。
- VHSテープを取り出して入れ直すと、カウンターはリセットされます。

聞きたい音声を選ぶ

音声を切り換える

二重音声放送(二カ国語放送など)やステレオ放送を見ているときや、二重音声放送(二カ国語放送など)を録画したテープの再生中に、聞きたい音声を選ぶことができます。

設定メニューの「モード設定➡オンスクリーン／ガイド」が「入」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。

(☞**37** ページ)

[音声]を押す

- 押すごとに、聞こえる音声が変わります。
- 画面表示は約３秒後に消えます。

二重音声放送を(主音声と副音声で)録画したテープのとき

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声	ノーマル音声(主音声)
テレビ画面の表示	左 − 右	左・主	右・副	ノーマル

ステレオ放送を録画したテープのとき

聞こえる音声	ステレオ音声	L	R	ノーマル音声(モノラル音声)
テレビ画面の表示	左 − 右	左・主	右・副	ノーマル

メモ

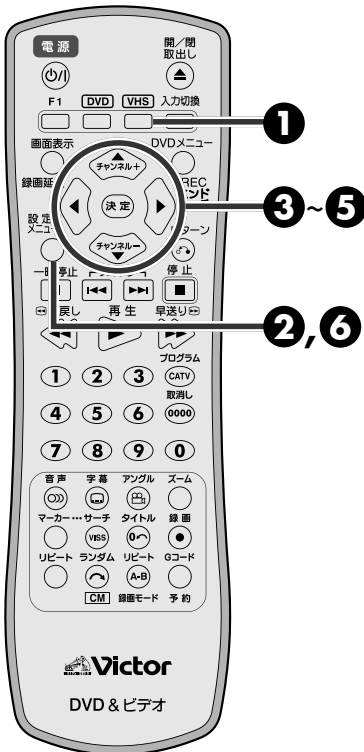
- ハイファイ音声が記録されていないテープではノーマル音声しか聞けません。
- 二重音声放送を録音すると、自動的に「左−右(主・副)」の録音になります。再生するときに[音声]で聞きたい音声を選んでください。

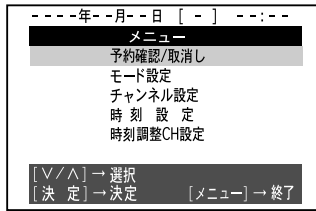
省電力の設定をする

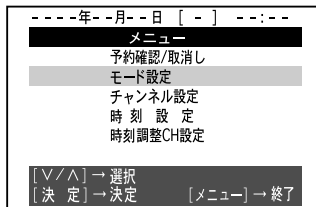
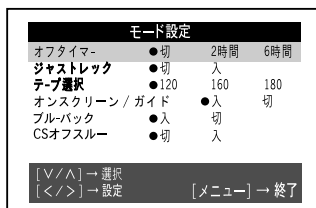
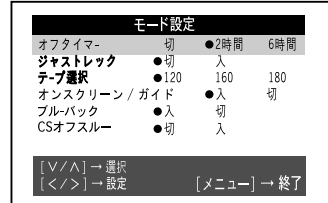
オフタイマー

本機の電源の切り忘れを防止するため、電源を自動的に切りたいときに設定します。

- 電源「入」の状態で何も操作しないと、2 時間後または 6 時間後に自動的に電源を切ることができます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力 (ビデオ 1 など）を選んでください (☞12 ページ)。

❶ [VHS] を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。

❷ [設定メニュー] を押す

❸ [▲／▼] で「モード設定」を選び、[決定] を押す

❹ [▲／▼] で「オフタイマー」を選ぶ

❺ [◄／►] で「2時間」または「6時間」を選ぶ

切　　：オフタイマーは働きません。
2時間：何も操作しないと2時間後に電源が切れます。
6時間：何も操作しないと6時間後に電源が切れます。

❻ [設定メニュー] を押す

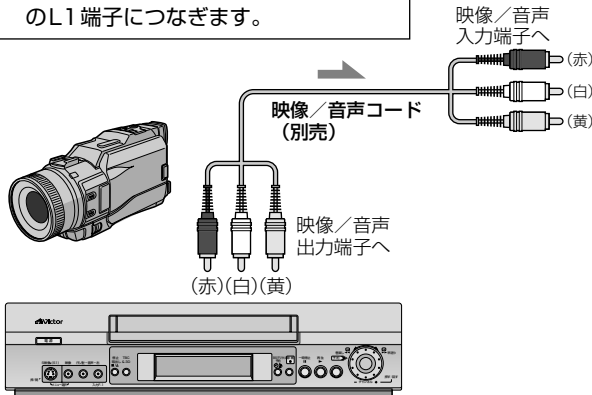
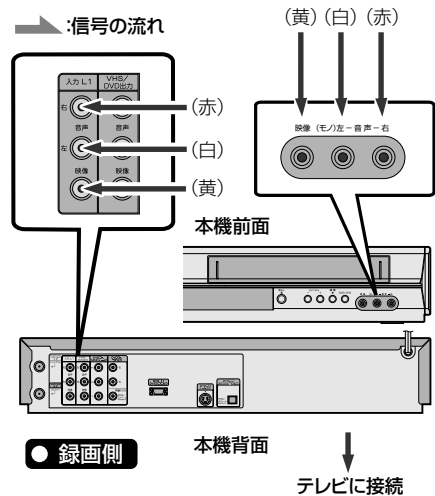
- メニュー画面が消えて終了です。

テープをダビングする

他機で再生、本機で録画する

● 再生側の機器がビデオデッキまたはビデオカメラのとき

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

● 本機の前面にある入力端子、または背面のL1端子につなぎます。

他機側（再生）

準備
- 再生するテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機側（録画）

準備
- 録画用のテープを入れておきます。

1 外部入力を選ぶ

[入力切換] で「L1」または「F1」を選ぶ

- 前面の入力端子に、相手の機器をつないだときは「F1」、背面の入力端子に、相手の機器をつないだときは、「L1」を選びます。

2 録画一時停止状態にする

[録画(●)]を押してから
[一時停止(II)]を押す

3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

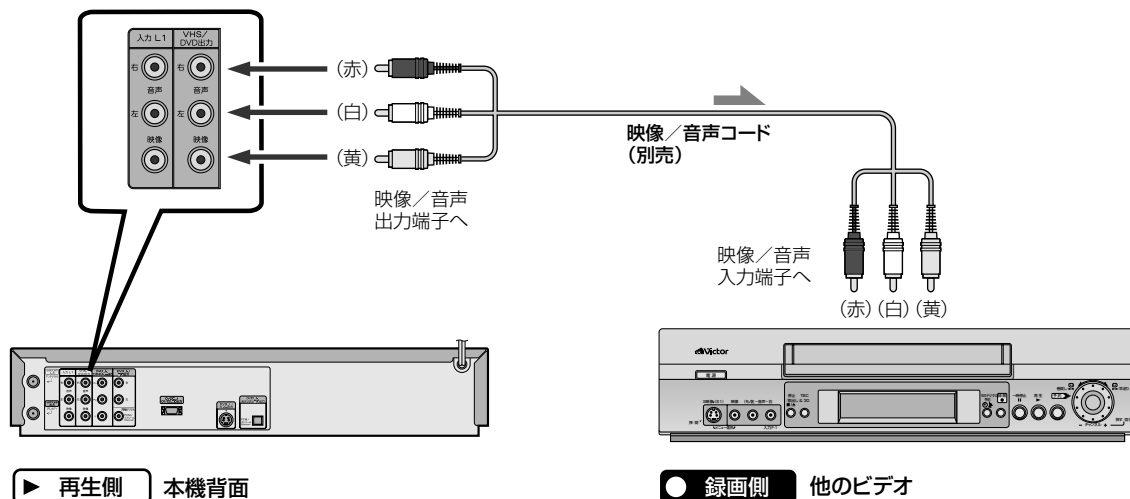
4 録画を始める

[再生(▶)]または
[録画(●)]を押す

- ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。標準モードで録画することをおすすめします。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- 録画一時停止などで映像をつないだ部分の精度が劣ることがありますが、本機の性能であり故障ではありません。

あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機で再生、他機で録画する

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

本機側(再生)

準備
- 再生するテープを入れておきます。
- 設定メニューの「モード設定 オンスクリーン/ガイド」を「切」にしておきます。「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が一緒に録画されてしまいます。(☞37 ページ)

❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

[再生(▶)]を押す

他機側(録画)

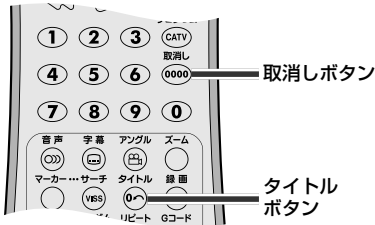
準備
- 録画用のテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ 本機を接続した外部入力を選ぶ

❷ 録画一時停止状態にする

❹ 録画を始める

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力 (ビデオ 1 など）を選んでください (☞12 ページ)。

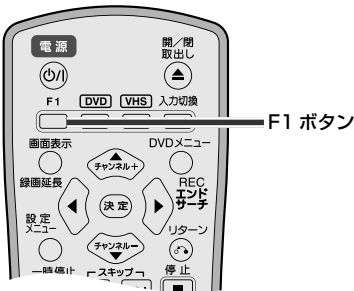
テープをお好みの位置に戻す（ゼロリターン）

録画中や再生中に

後で見たいところで[取消し]を押す

- 本体表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。

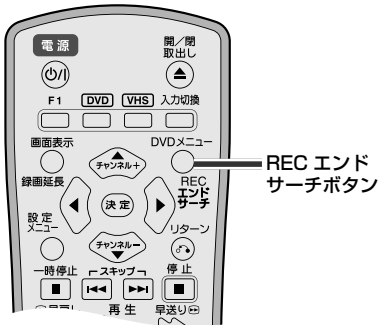
録画や再生終了後に[タイトル(0↶)]を押す

- カウンターが「0:00:00」の位置まで巻き戻して自動停止します。

思わぬ誤動作を防止する（チャイルドロック）

本機には、チャイルドロック機能がついています。
チャイルドロックが設定されていると、本体の操作ボタンは働きません。

[F1]を３秒以上押す

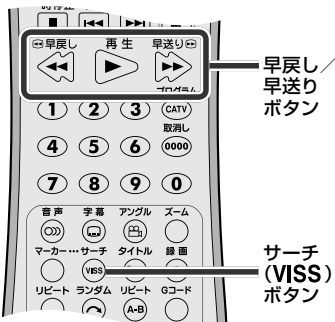
- 本体表示窓に O┳┳ が赤く点灯します。
- チャイルドロックが働いているときは、本体のボタンを押すと本体表示窓に「SAFE」を表示します。
- チャイルドロックを解除するには、もう一度**[F1]**を３秒以上押してください。本体表示窓の O┳┳ が消灯します。

無録画部分を頭出しする（RECエンドサーチ）

録画の最後を検索します。
録画するときに録画位置をすばやく探せます。

再生中や停止中に

[RECエンドサーチ]を押す

- 録画番組の最後を検出して止まります。
- 停止位置は多少ずれることがあります。
- 録画した番組と番組の間に10秒以上の無録画部分があると、その部分で停止することがあります。

番組の頭出しをする（頭出しサーチ）

録画の始めに頭出し信号をテープに書き込みます。この信号を使って、番組の頭出しが簡単にできます。

再生中や停止中に

[サーチ（VISS）]を押してから、[◀◀] または [▶▶] を押す

- 番組の頭出しをしたら、自動的に再生します。
- 信号の検出は前後一つまでです。

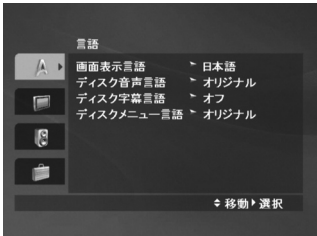
DVDプレーヤーの設定をする

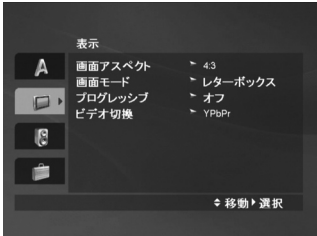
本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力 (ビデオ 1 など）を選んでください (☞12 ページ)。

DVD設定メニューについて

次の 4 つの設定メニューを使って、DVD プレーヤーの設定をします。

言語メニュー （☞ 52 ページ）

DVD ビデオ再生時の各言語設定と DVD 設定メニューの言語を設定します。

表示メニュー （☞ 52 ページ）

表示（映像）出力の設定をします。

オーディオメニュー （☞ 53 ページ）

オーディオ（音声）出力の設定をします。

その他メニュー （☞ 53 ページ）

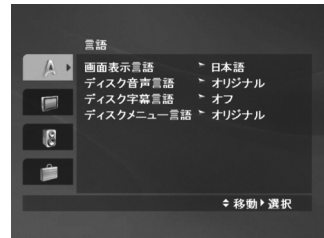
その他の設定をします。

お買い上げ時の設定を変える

❶ [DVD] を押す

- 本体表示窓に DVD を表示します。

❷ [設定メニュー]を押す

- 言語メニュー画面が表示されます。

❸ [▲／▼] でメニュー項目を選び、[▶] を押す

例：表示メニューの場合

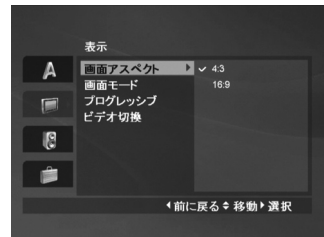
❹ [▲／▼] で設定項目を選び、[▶]を押す

❺ [▲／▼] で設定内容を選び、[決定]を押す

❻ [設定メニュー] を押す

- 設定を終了します。

DVDを楽しむ

DVDプレーヤーの設定をする（つづき）

DVD設定メニュー項目一覧

	項　目	設　定　内　容	
言語メニュー	画面表示言語	設定メニューなどの画面上に表示される表示言語を選びます。 日本語⟷英語	
	ディスク音声言語	DVDの音声言語を選びます。 メニューにない言語の場合は、「その他」を選び数字ボタンで言語コードを入力し、[決定]を押します。 言語コードは言語コード一覧表(☞**54**ページ)をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	ディスク字幕言語	DVDの字幕言語を選びます。 メニューにない言語の場合は、「その他」を選び数字ボタンで言語コードを入力し、[決定]を押します。 言語コードは言語コード一覧表(☞**54**ページ)をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	ディスクメニュー言語	DVDのメニュー画面に表示される言語を選びます。 メニューにない言語の場合は、「その他」を選び数字ボタンで言語コードを入力し、[決定]を押します。 言語コードは言語コード一覧表(☞**54**ページ)をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
表示メニュー	画面アスペクト	お使いのテレビの画面サイズに合わせて設定してください。	
		4:3	画面サイズが4:3のテレビと接続するとき。
		16:9	画面サイズが16:9のワイドテレビと接続するとき。
	画面モード	画面アスペクトを「4:3」に設定したときに選択します。	
	レターボックス画面	**レターボックス**	16:9のディスクを再生したとき、上下に黒い帯がある状態で映ります。
	パンスキャン画面	**パンスキャン**	16:9のディスクを再生したとき、左右両端が切り取られた状態で映ります。
	プログレッシブ	お使いのテレビがプログレッシブスキャン対応テレビのときに設定します。	
		オン	プログレッシブスキャンで出力します。
		オフ	インターレーススキャンで出力します。
	ビデオ切換	DVD専用映像出力の設定をします。(D1/D2端子またはS端子)	
		S-VIDEO	S映像出力端子で見るときに選びます。
		YPbPr	D1/D2映像出力端子(およびYPbPr出力端子)で見るときに選びます。

DVD設定メニュー項目一覧(つづき)

お買い上げ時の設定状態です

	項　目	設　定　内　容	
オーディオメニュー	Dolbyデジタル出力	デジタル音声出力端子の設定をします。	
		Bitstream	ドルビーデジタルデコーダーや内蔵のアンプに接続するときに選びます。
		PCM	2チャンネルデジタルステレオアンプに接続するときに選びます。
	DTS出力	デジタル音声出力端子を、接続するデコーダーやアンプに対応して設定します。	
		Bitstream	DTSデコーダーやドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続するときに選びます。
		オフ	DTS信号は出力されません。
	MPEG	デジタル音声出力端子を、接続するデコーダーやアンプに対応して設定します。	
		Bitstream	MPEGデコーダー内蔵アンプに接続するときに選びます。
		PCM	2チャンネルデジタルステレオアンプに接続するときに選びます。
	サンプリング周波数	お使いのレシーバーやアンプのサンプリング周波数に合わせて設定します。	
		48kHz	48kHzで出力します。
		96kHz	96kHzで出力します。
	Dレンジコントロール	ドルビーデジタル収録されたDVDビデオを小音量で楽しむ場合、音声のダイナミックレンジを圧縮します。収録されたチャンネル数に合わせて設定します。 この機能はドルビーデジタル収録されたディスク以外では働きません。	
		オン	ダイナミックレンジを圧縮します。
		オフ	この機能は働きません。
	ダウンミックス	マルチチャンネルカラオケDVDを再生する場合に設定します。ディスクのカラオケチャンネルを、標準ステレオサウンドとミックスして出力します。	
		オン	この機能が働きます。
		オフ	この機能は働きません。
その他メニュー	Play Back CTL	PBC(プレイバックコントロール)対応のビデオCDのとき設定します。	
		オン	メニュー画面で項目や番号などを選んで再生することができます。
		オフ	PBCは働きません。
	Black Level	再生画像の黒レベルを、お好みの画質、テレビの性能に沿って設定します。 お好みで設定してください。	
		0IRE	拡大したグレイスケールになります。
		7.5IRE	標準グレイスケールになります。
	DivX(R) 認証	DivX® ODサービスを利用するときには認証コードが必要です。本機の認証コードが確認できます。 詳しくは www.divx.com/vod をご覧ください。	

スクリーンセーバーについて

長い時間、テレビ画面に静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

DVD設定メニュー表示中、停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから5分以上何も操作しないと、画面が暗くなります。いずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の画面に戻ります。

- スクリーンセーバー機能は、ビデオのときは働きません。

言語コード一覧

〈言語コード一覧〉

言　語	コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語	コード
アブハジア語	6566	フィジー語	7074	リンガラ語	7678	シンハリー語	8373
アファル語	6565	フィンランド語	7073	リトアニア語	7684	スロバキア語	8375
アフリカーンス語	6570	フランス語	7082	マケドニア語	7775	スロベニア語	8376
アルバニア語	8381	フリジア語	7089	マダガスカル語	7771	ソマリ語	8379
アムハラ語	6577	ガリシア語	7176	マライ語	7783	スペイン語	6985
アラブ語	6582	グルジア語	7565	マラヤーラム語	7776	スーダン語	8385
アルメニア語	7289	ドイツ語	6869	マルタ語	7784	スワヒリ語	8387
アッサム語	6583	ギリシャ語	6976	マオリ語	7773	スウェーデン語	8386
アイマラ語	6588	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	タガログ語	8476
アゼルバイジャン語	6590	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	タジク語	8471
バシキール語	6665	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タミール語	8465
バスク語	6985	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タタール語	8484
ベンガル語	6678	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	タイ語	8472
ビハール語	6672	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	チベット語	6679
ブルターニュ語	6682	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	ティグリニア語	8473
ブルガリア語	6671	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トンガ語	8479
ビルマ語	7789	インターリングア語	7365	イラン語	7065	トルコ語	8482
ベロルシア語	6669	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トルクメン語	8475
カンボジア語	7577	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	トウィ語	8487
カタロニア語	6765	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウクライナ語	8575
中国語	9072	ジャワ語	7487	ラエト語	8277	ウルドゥー語	8582
コルシカ語	6779	カンナダ語	7578	ルーマニア語	8279	ウズベク語	8590
クロアチア語	7282	カシミール語	7583	ロシア語	8285	ベトナム語	8673
チェコ語	6783	カザフ語	7575	サモア語	8377	ボラビュック語	8579
デンマーク語	6865	キルギス語	7589	梵語	8365	ウェールズ語	6789
オランダ語	7876	韓国語	7579	スコットランド・ゲール語	7168	ウォロフ語	8779
英語	6978	クルド語	7585	セルビア語	8382	ホサ語	8872
エスペラント語	6979	ラオス語	7679	セルボクロアチア語	8372	イディッシュ語	7473
エストニア語	6984	ラテン語	7665	ショナ語	8378	ヨルバ語	8979
フェロー語	7079	ラトビア語	7686	シンド語	8368	ズールー語	9085

DVDプレーヤーの基本操作

ここでは、主にリモコンのボタンを使っての操作説明をします。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

DVDを操作する場合

- 本機の電源を「入」にします。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞12ページ)。

リモコンの[DVD]を押します。
- 本体表示窓にDVDを表示します。
- 本体の[DVD/VHS]でも切り換えられます。

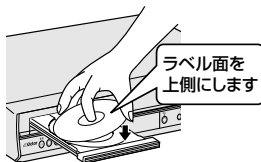
オープニング画面について

- 電源が「入」になると、テレビ画面に自動的にオープニング画面が表示されます。

ディスクを入れる/取り出す

[開／閉(⏏)]を押す

ディスクトレイが出てきます。ディスクトレイの円形部分に沿うように正しくディスクを置きます。

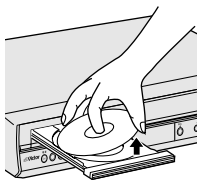
開/閉(⏏)ボタン

- 8センチディスクは内側の凹部に置きます。
- 両面ディスクのときは、再生したい面を下にして、ディスクトレイに入れます。
- もう一度［開／閉（⏏)］を押すとディスクトレイが閉まります。ディスクによっては再生が始まります。
- 電源「切」のときでも、本体の
- [開／閉（⏏)］を押すと、ディスク
- トレイが出てきます。

また、ディスクの種類によって、使えない機能もあります。ここでは、機能ごとに次のマークを示し、どの種類のディスクで操作ができるのかをお知らせしています。

例：オーディオCD以外で使える機能のとき

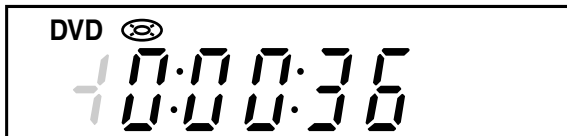
再生する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

[DVD]を押します。
- 本体表示窓にDVDを表示します。

[再生(▶)]を押す

ディスクの最初から再生が始まります。
リジューム再生によっては、前回の続きが再生されることもあります（☞**56**ページ)。

本体表示窓

DVD 0:00:36

メニューが表示されたときは

ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。(☞**58**ページ)

- ディスクによっては、ディスクトレイが閉まると自動的に再生が始まります。

- 電源プラグを差し込んだあと約30秒間は、ディスク挿入などの操作はできません。
- ディスクを取り出すときは、ディスクが出終わるまでさわらないでください。また、ディスクが挿入口から出た状態のままディスクを放置しないでください。
- CPRMに対応しておりませんので、コピー制限がかかった番組の再生はできません。

再生を停止する

DVD ビデオ / オーディオ CD / ビデオ CD / スーパービデオ CD

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中に

[停止 (■)] を押す

再生が停止します。
[再生 (▶)] を押すと、記憶された位置から続きが再生されます（リジューム再生）。

位置の記憶を取り消すには

- 停止中に［停止（■)］を押す
- 電源を「切」にする

- PBC 対応のビデオ CD や、記憶された位置によっては、記憶されている再生位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
- 再生位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
- DVD ビデオのメニュー画面表示中やビデオ CD の PBC メニュー画面が表示されているときは、再生位置が記憶できないことがあります。

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビ画面に一時的に表示されることがあります。

⃠ ：本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくても、操作ができないことがありますのでご注意ください。

▶ ：再生を開始すると表示されます。

⏸ ：一時停止（☞**57** ページ）すると表示されます。

⏪ ⏩ ：早送り / 早戻し再生（☞**56** ページ）をすると表示されます。

◀| |▶ ：スローモーション再生（☞**57** ページ）をすると表示されます。

■ ：停止すると表示されます。

早送り / 早戻し再生をする

DVD ビデオ / オーディオ CD / ビデオ CD / スーパービデオ CD

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中に

[◀◀] または [▶▶] を押す

[▶▶］を押すと早送りになります。
- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

（早送り）：

（早送り）：

▶▶ ×2 ➡ ▶▶ ×4 ➡ ▶▶ ×8

[◀◀］を押すと早戻しになります。
- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

（早戻し）：

（早戻し）：

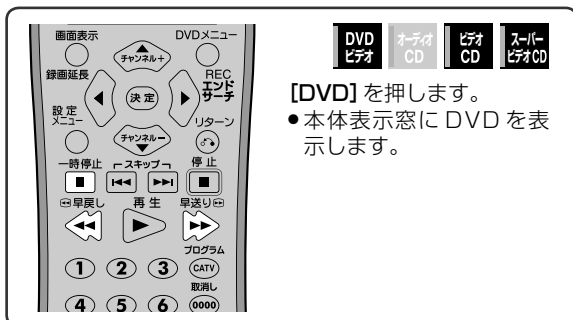
◀◀ ×2 ➡ ◀◀ ×4 ➡ ◀◀ ×8

通常の再生に戻すには、[再生 (▶)] を押します。

- 早送り / 早戻し再生中は、音声が出ません。オーディオ CD では、音声が断続的に聞こえます。

一時停止/画像を1コマずつ送る/スローモーション再生する(スロー)

DVD ビデオ / オーディオ CD / ビデオ CD / スーパービデオCD

[DVD] を押します。
● 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中に

[一時停止(❚❚)] を押す

再生が一時停止します。

画像を 1 コマずつ送る(コマ送り)

一時停止中に

[一時停止(❚❚)] を押す

ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。
● 本機では、逆方向のコマ送りはできません。

スローモーション再生する

再生中に

[◀◀] または [▶▶] を押す

[▶▶] を押すと順方向のスローモーション再生になります。
● 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

(順方向):

❙▶ 1/7 ➡ ❙▶ 1/6 ➡ ❙▶ 1/4 ➡ ❙▶ 1/2

[◀◀] を押すと逆方向のスローモーション再生になります。
● 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

(逆方向):

◀❙ 1/7 ➡ ◀❙ 1/6 ➡ ◀❙ 1/4 ➡ ◀❙ 1/2

● DVD ビデオ以外のディスクでは、逆方向のスローモーションは働きません。

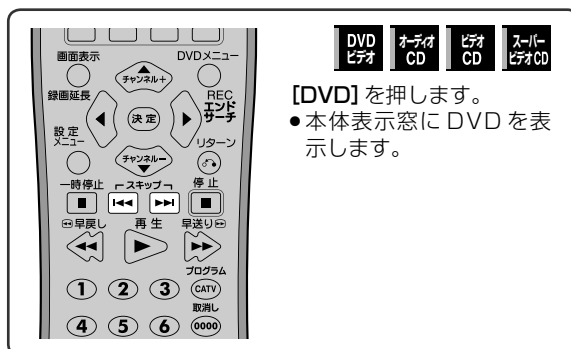
通常の再生に戻すには、**[再生(▶)]** を押します。

● スローモーション再生中は、音声が出ません。

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ

前後のタイトル / チャプター(DVD ビデオ)やトラック(オーディオ CD/ ビデオ CD/ スーパービデオ CD)の頭にスキップすることができます。

DVD ビデオ / オーディオ CD / ビデオ CD / スーパービデオCD

[DVD] を押します。
● 本体表示窓に DVD を表示します。

DVD ビデオ : 再生中に、オーディオ CD : 停止中または再生中に、ビデオ CD/ スーパービデオ CD : 停止中または PBC オフで再生中に

[❙◀◀] または [▶▶❙] を押す

[▶▶❙] をくり返し押すと、先のチャプター / トラックに進みます。
[❙◀◀] をくり返し押すと、前のチャプター / トラックに戻ります。
● 現在再生しているチャプター / トラックの頭に戻すには、1 回だけ [❙◀◀] を押します。

● DVD ビデオや PBC 機能(☞**59** ページ)対応ビデオ CD によっては、この機能を使えないものもあります。
● ⃠が表示されたときは ...
押した番号のタイトルあるいはトラックが収録されていません。

DVDを楽しむ

DVDプレーヤーの基本操作(つづき)

メニューから再生する

DVD ビデオのメニューや、ビデオ CD/ スーパービデオ CD の PBC（プレイバックコントロール）を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。

DVD ビデオのメニューから選ぶ

DVD ビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

DVD ビデオ：いつでも

1 [DVDメニュー]を押す

- ディスクのメニュー画面が表示されます。

2 [▲／▼／◀／▶]を使って見たい映像や項目を選び、[決定]または[再生(▶)]を押す

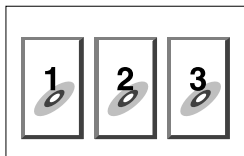
- 選択したところから再生されます。

例：

- [DVD メニュー] を押して⃠が表示されたときは・・・
  そのディスクにメニュー画面自体が収録されていません。
- 停止中は、[DVD メニュー] は働きません。
- ＤＶＤビデオのフォーマットで記録し、ファイナライズされたディスクでも、再生するディスクによってはディスクのメニュー画面にその内容（タイトル）が、表示されない場合があります。

DVD-RW(VR モード) ディスクを再生する

DVD-RW（VR モード）のディスクを再生することができます。

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。

2 [DVDメニュー]を押す

- リストメニューが表示されます。

3 [▲／▼]でタイトルを選び、[決定]または[再生(▶)]を押す

停止するには

[停止 (■)] を押します。

- CPRM には対応しておりませんので、コピー制限がかかった番組の再生はできません。
- DVD-R(VR モード) のディスクは再生できません。
- ディスクによっては、再生できない場合があります。
- ディスクによっては、番号 (01、02・・・) 右側の欄が空欄になったり、文字化けして表示されることがあります。

ビデオ CD のメニューから選ぶ

PBC が記録されたビデオ CD/ スーパービデオ CD を再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

メニュー画面が表示されたら

数字 [0 ～ 9] を使って見たいトラックの番号を指定する

選んだ番号のトラックが再生されます。
- 1 ケタの場合は最初に［0］を押します。

メニュー画面に戻るときは

[リターン] を押す

テレビ画面上に[次へ]または[前へ]などと表示されているときは

[▶▶|] を押してメニューの次のページへ進みます。
[|◀◀] を押してメニューの前のページへ戻ります。
- 操作方法はディスクにより異なります。

ビデオ CD/ スーパービデオ CD の PBC 機能をオン / オフするには

DVD 設定メニューの「**その他**」→「Play Back CTL」でオン／オフを設定します (☞**53** ページ)。

プレイバックコントロール（PBC）について

ビデオ CD/ スーパービデオ CD のプレイバックコントロール (PBC) では、いくつかの階層に分けられて収録されたディスクの内容を、画面の指示にしたがって、再生することができます。
PBC 対応ディスクを再生すると、通常は最初のメニュー画面が表示されます。そこで画面に表示された項目や番号を選んで、見たいところを再生したり、次の画面に進んだりすることができます。
本機では、PBC 対応のディスクでも、PBC を使わずに収録されたトラックを連続して再生することができます。

また、PBC 対応ディスクは、動画の 4 倍以上の解像度を持つ高精細な静止画を収録することもできます。

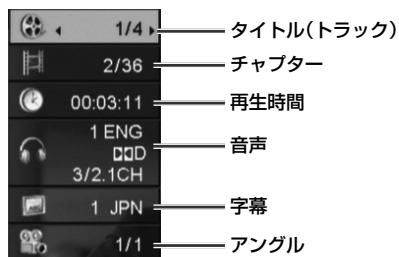
ディスク情報を表示する･変更する

再生中または一時停止中に、ディスク情報を表示できます。また、お好みの設定に変更することもできます。

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中または一時停止中に

❶ [画面表示] を押す

- 表示項目はディスクによって異なります。

❷ [▲／▼] で項目を選び、[◀／▶] で設定内容を変更する

メモ

- ディスク情報を表示したあと数秒間何も操作をしないと、ディスク情報の表示は消えます。

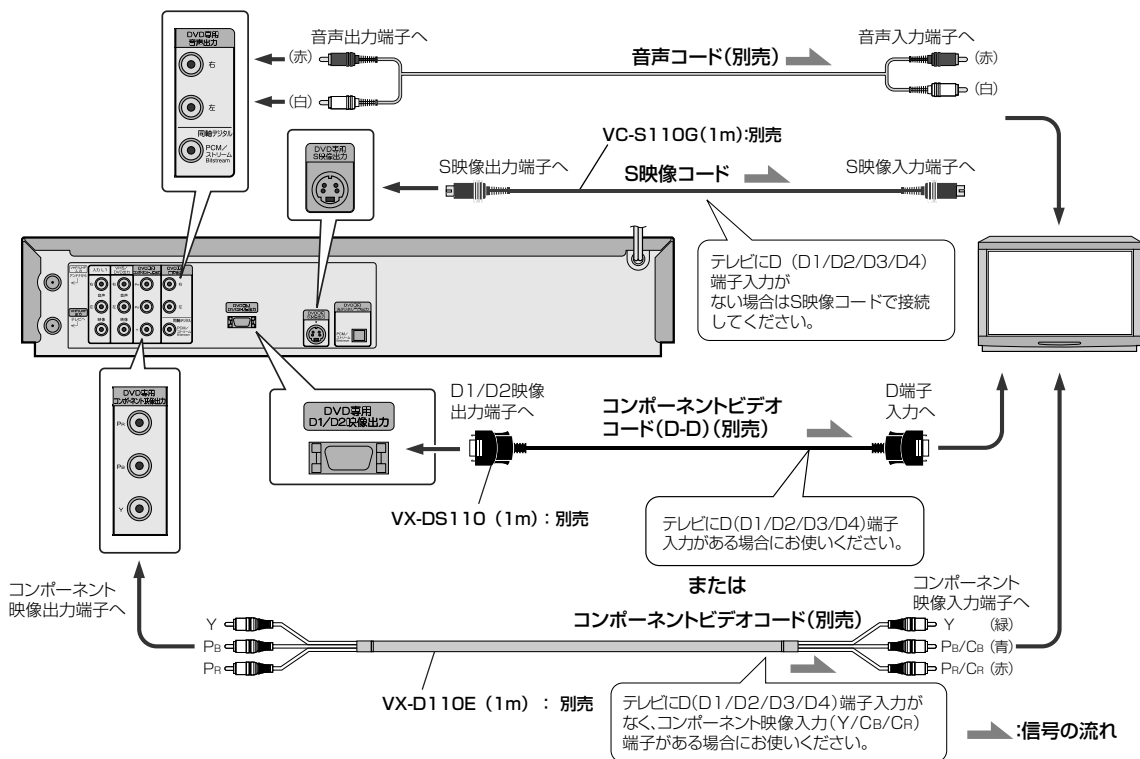
DVDプレーヤーの便利な機能

DVDを高画質で楽しむ

テレビにD1 ／ D2 ／ D3 ／ D4 端子入力があるときは、本機のD1/D2 映像出力端子とつなぐとより高画質で楽しむことができます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力 (ビデオ 1 など）を選んでください (☞12 ページ)。

本機とD端子付きテレビの映像／音声端子を接続する

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

接続後、DVD 設定メニューの「表示メニュー」で次の設定をしてください。

- 使用する映像出力の設定をします。
  D1/D2 映像出力端子のとき：「ビデオ切換」で「YPbPr」を選びます。
  S 映像出力端子のとき：「ビデオ切換」で「S-VIDEO」を選びます。
- お使いのテレビに合わせて設定します。
  ワイドテレビ（16:9）を接続しているとき：「画面アスペクト」で「16:9」を選びます。
  通常のテレビ（4:3）を接続しているとき：「画面アスペクト」で「4:3」を選びます。
  「4：3」を設定したときは、「画面モード」で「レターボックス」または「パンスキャン」を選びます。
- 詳しくは、**52** ページをご覧ください。

D 端子入力付きテレビをお持ちのかたへ

- コンポーネントビデオコードおよび音声コードを接続してください。

ワイドテレビをお持ちのかたへ

- 画像サイズの判別をするために、本機とテレビの接続は、D 端子で接続することをおすすめいたします。

- DVD 専用出力端子は、VHS 側の映像信号／音声信号を出力しません。
- 本機の S 映像端子は、S1/S2 出力に対応していません。
- S 端子、D 端子およびコンポーネント端子は、同時に接続しないでください。どれか 1 つのコードのみ接続してください。

スキャンモードを切り換える

本機のスキャンモードは、お買い上げ時は「インターレース」に設定されています。
プログレッシブスキャン対応テレビと本機のD映像端子で接続したときに、スキャンモードをプログレッシブ方式で楽しむことができます。

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

停止中または再生中に

❶ [設定メニュー] を押す

- 言語メニュー画面が表示されます。

❷ [▲／▼] で「表示」を選び、[▶] を押す

❸ [▲／▼] で「プログレッシブ」を選び、[▶] を押す

❹ [▲／▼] で「オン」を選び、[決定] を押す

- 本体表示窓に［P］を点灯します。

❺ [設定メニュー] を押す

- 設定終了です。

インターレース方式に戻すには

同じ手順で「オフ」を選びます。
- 本体表示窓の［P］が消灯します。

- 表示メニューの「ビデオ選択」が「S-VIDEO」のときは、「プログレッシブ」を選ぶことができません。「YPbPr」に設定してください。
- 「プログレッシブ」が「オン」のときでもVHS/DVD共通の映像出力端子からは、「インターレース」で出力されます。

音声言語/音声を選ぶ(音声)

DVD ビデオやビデオ CD/ スーパービデオ CD の中には複数の音声言語 / 音声が収録されているものがあります。それらの中から希望する音声言語 / 音声を選ぶことができます。

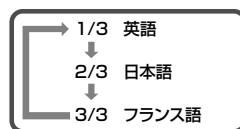
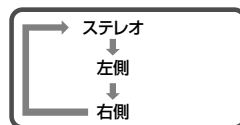
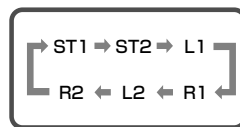
DVDビデオ オーディオCD ビデオCD

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中に

[音声] をくり返し押す

ボタンを押すごとに、音声言語 / 音声が切り換わります。

例：DVD ビデオのとき

例：ビデオ CD のとき

例：スーパービデオ CD のとき

（スーパービデオ CD には 2 種類のステレオ音声が録音されているものがあります。）

現在の音声設定を確認するには

[音声] を一回押す

DVDプレーヤーの便利な機能(つづき)

- ⃠が表示されたときは･･･
  ディスクに複数の音声が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- 音声の切り換えは、ディスクに収録されていない音声言語 / 音声については、ご使用になれません。

音声言語の表記について

言語コードで表示されたときは、言語コード（☞ **54** ページ）をご確認ください。

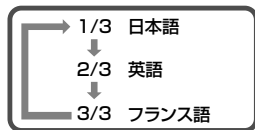
字幕を切り換える(字幕)

DVD ビデオ / スーパービデオ CD の中には、複数の字幕言語が収録されているものがあります。それらの中から希望する言語を選びます。

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

❶ [字幕] を押す

- 字幕言語ウインドウが表示されます。

❷ [▲／▼] を押して字幕言語を選ぶ

字幕を消すには

[字幕] を押して「オフ」を選ぶ

- ⃠が表示されたときは･･･
  ディスクに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- 字幕の切り換えは、ディスクに収録されていない言語については、ご使用になれません。

字幕言語の表記について

言語コードで表示されたときは、言語コード（☞ **54** ページ）をご確認ください。

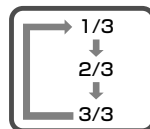
アングルを切り換える(アングル)

DVD ビデオの中には、複数のアングルが収録されているものがあります。それらの中から希望するアングルを選びます。

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

❶ [アングル] を押す

- ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。

❷ [▲／▼] を押して字幕言語を選ぶ

現在のアングルを確認するには

[アングル] を一回押す

- 複数のアングルが収録されていないディスクでは、アングルの切り換えはできません。

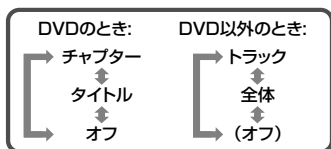
くり返し再生する(リピート再生)

再生中の映像や音楽をくり返して再生することができます。

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

DVD ビデオ:再生中に、オーディオ CD:停止中または再生中に、ビデオ CD/ スーパービデオ CD:停止中または PBC オフで再生中に

[リピート] をくり返し押す

- ボタンを押すごとに、次のようにモードが切り換わります。

チャプター	:チャプターのリピート再生
トラック	:トラックのリピート再生
タイトル	:タイトルのリピート再生
全体	:全トラックのリピート再生
オフ	:リピート再生のモードの解除

順不同に再生する(ランダム再生)

ディスク上の全トラックを順不同(ランダム)に再生することができます。

オーディオ CD

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中または一時停止中に

[ランダム]を押して「ランダム」を表示する

ランダム再生をやめるには

[ランダム] を押して「ランダム」表示を消します。

画面を拡大する(ズーム)

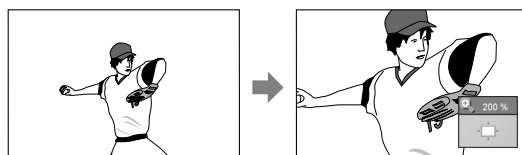
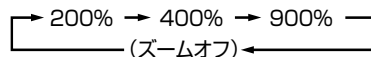
画面上のお好みの場所を拡大して見ることができます。

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中または一時停止中に

❶ [ズーム]を押す

画面が拡大されます。
- ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。

200% → 400% → 900% → (ズームオフ)

❷ [▲/▼/◀/▶]を押して拡大したい部分を選ぶ

ズームを解除するには

メニューが消えるまで [ズーム] を押す

ご注意
- ズームはタイトル/チャプターが変わると元に戻ります。
- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

DVDプレーヤーの便利な機能(つづき)

指定した区間をくり返し再生する(A-Bリピート再生)

再生中の映像や音楽を設定した範囲だけのくり返し再生ができます。

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中に

1 くり返し再生する始点で [リピート(A-B)] を押す
- A を表示します。

2 くり返し再生する終点で [リピート(A-B)] を押す
- A-B を表示します。
- 始点・終点の範囲を繰り返し再生します。

A-B リピート再生を終了するには

[リピート（A-B）] を押す
- 「オフ」を表示します。

見たい位置を設定して頭出しする(マーカーサーチ)

お好みのシーンにマークを設定してマークの位置で頭出しできます。

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

再生中に

マークを設定する

1 お好みのシーンで [マーカー] を押す
- 画面に数字が表示されます。
- 9 個までマークの設定ができます。

頭出しをする

1 [サーチ] を押す
- 画面上部に数字が表示されます。

2 数字 [0〜9] で見たいシーンの数字を入力する
- 選んだ数字の位置から頭出し再生します。

マークを取り消す

1 [サーチ] を押す

2 [◀／▶] で取り消す番号を選ぶ

3 [取消し] を押す

MP3／JPEGディスクを再生する

MP3／JPEGディスクやファイルについては10ページをご覧ください。

MP3／JPEGコントロール画面について

MP3／JPEGディスクを入れるとコントロール画面が表示されます。
コントロール画面でMP3／JPEGの基本操作をすることができます。
MP3ファイルとJPEGファイルが混在するディスクのときは、[タイトル]を押して再生するファイルを選んでください。押すごとに画面が切り換わります。

MP3ディスクを再生する

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。
- WMA ファイルも再生できます。

❶ MP3ディスクを入れる

- MUSICコントロール画面が表示されます。

❷ [▲／▼]をくり返し押してグループを選び、[決定]を押す

- トラックが表示されます。

❸ [▲／▼]をくり返し押してトラックを選び、[決定]または[再生(▶)]を押す

- 再生が始まります。

早送り／早戻し再生するには

再生中に [◀◀] または [▶▶] を押します

[▶▶]を押すと早送りになります。
- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

▶▶ ×2 ➡ ▶▶ ×4 ➡ ▶▶ ×8

[◀◀]を押すと早戻しになります。
- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

◀◀ ×2 ➡ ◀◀ ×4 ➡ ◀◀ ×8

前後のトラックにスキップするには

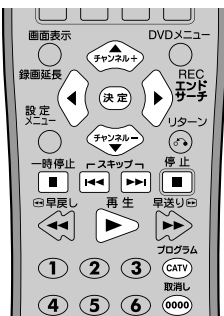
[|◀◀] または [▶▶|] を押します

他のグループに移動するには

[▲]を押して を選び、[決定]を押します。
[▲／▼]でグループを選び直すことができます。

演奏を一時停止するには

[一時停止 (II)] を押します

演奏を途中でやめるには

[停止 (■)] を押します

ご注意

- ディスクの特性によって、再生までの読み取り時間が長くなることがあります。
- 現在の演奏経過時間以外の時間情報は表示されません。
- DVD設定メニューを変更したあとは、ディスクトレイを開閉してディスクを再度読み込ませてください。
- トラック情報があるときに[画面表示]を押すと、情報が画面に表示されます。
- ファイル名の漢字や全角アルファベットの文字のみ表示できません。

MP3／JPEGディスクを再生する(つづき)

選んだ順番に再生する(プログラム再生)

MP3 ディスク　JPEG ディスク

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。
- WMA ファイル･オーディオ CD もプログラム再生できます。

❶ MP3ディスクを入れる

- MUSICコントロール画面が表示されます。

❷ [プログラム]を押す

- コントロール画面右上に Ⓔ マークを表示します。

❸ [▲／▼]でトラックを選び、[決定]を押す

- 選んだトラックが画面右の｢プログラム｣に表示されます。
- ❸をくり返して他のトラックを｢プログラム｣に追加します。

❹ [▶]を押して｢プログラム｣に移動する

❺ [▲／▼]で01番目の曲を選ぶ

- 途中を選ぶと途中以降の曲が対象になります。

❻ [再生(▶)]または[決定]を押す

- 選んだ順番に再生されます。
- 選んだトラックの再生がすべて終了すると再生を終了します。

プログラム再生を停止するには

[停止(■)]を押します。

プログラムから消去するには

[▶]を押してから[▲／▼]で消去するトラックを選び、[取消し]を押します。

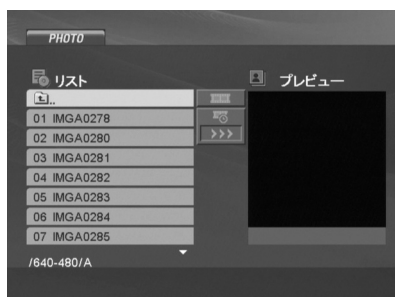
プログラムをすべて消去するには

｢オールクリア｣を選び、[決定]を押します。

ご注意

- プログラム再生は Ⓔ マークが表示されているときに設定できます。
- 電源を切ったり、ディスクを取り出すとプログラムは消去されます。
- トラック情報があるときに[画面表示]を押すと、情報が画面に表示されます。

JPEGディスクを再生する

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

❶ JPEGディスクを入れる

- PHOTOコントロール画面が表示されます。

- MP3ファイルとJPEGファイルが混在するディスクのときは、[タイトル]を押してPHOTOコントロール画面に切り換えます。

❷ [▲／▼]をくり返し押してグループを選び、[決定]を押す

- ファイルが表示されます。

❸ [▲／▼]をくり返し押してファイルを選び、[決定]または[再生(▶)]を押す

- 選んだファイルの静止画再生が始まります。

前後のファイルにスキップするには
[I◀◀]または[▶▶I]を押します。

画像を回転させるには
[▲]を押す→左に90゜回転します。
[▼]を押す→右に90゜回転します。

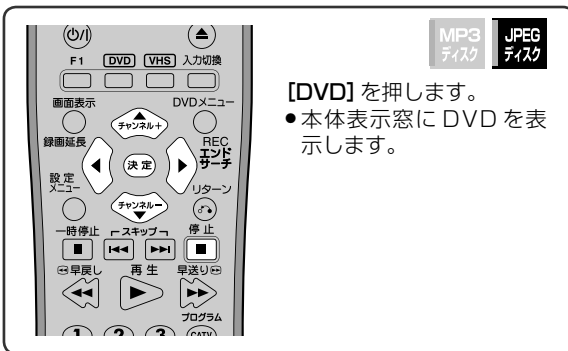
画面下の操作説明バーを消すには
[リターン( )]を押します。
もう一度押すと表示します。

他のグループに移動するには
[停止(■)]を押してから[▲]で を選び、[決定]を押します。[▲／▼]でグループを選び直すことができます。

PHOTOコントロール画面を表示するには
[停止(■)]を押します。

- ディスクの特性によって、再生までの読み取り時間が長くなることがあります。
- JPEG以外のファイルはPHOTOコントロール画面には表示されません。
- DVD設定メニューを変更したあとは、ディスクトレイを開閉してディスクを再度読み込ませてください。

ファイルを連続再生する(スライドショー)

JPEG画像を指定したスピードで連続再生できます。(スライドショー再生)

[DVD]を押します。
- 本体表示窓にDVDを表示します。

❶ JPEGディスクを入れる
- PHOTOコントロール画面が表示されます。
- MP3ファイルとJPEGファイルが混在するディスクのときは、[タイトル]を押してPHOTOコントロール画面に切り換えます。

❷ [▲／▼]で最初に再生するファイルを選ぶ

❸ [▲／▼／◀／▶]で > を選ぶ

❹ [◀／▶]で再生するスピードを選ぶ
>　　→約13秒間表示します。
>>　→約8秒間表示します。
>>>→約5秒間表示します。

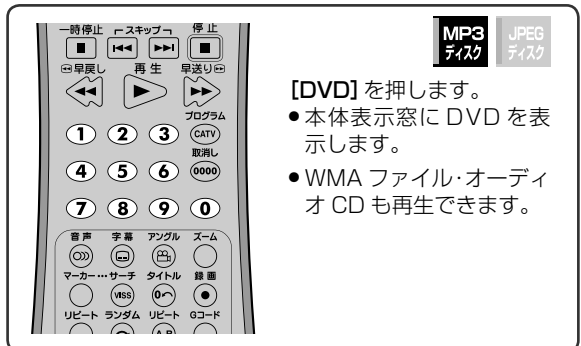
❺ [▲／▼]で を選び[決定]を押す
- 選んだファイルからスライドショー再生が始まります。

スライドショー再生を途中でやめるには
[停止(■)]を押します。
- PHOTOコントロール画面が表示されます。

フォトミュージック機能について
MP3ファイルが混在したディスクでは、音楽を聴きながらJPEG画像のスライドショー再生ができます。手順❺で を選び［決定］を押します。
- 画像を見ながらお好みの音楽を聴きたいときは、プログラム再生(☞**66**ページ)の手順❶〜❸でプログラムをしてください。
そのあと上記の操作をします。

トラックを直接指定して再生する

再生するトラックを数字ボタンを使って、直接指定することができます。
- 選んだトラックから再生が始まります。

[DVD]を押します。
- 本体表示窓にDVDを表示します。
- WMAファイル·オーディオCDも再生できます。

コントロール画面表示中または再生中に

数字[0〜9]を押してトラックを選ぶ

くり返し再生する(リピート再生)

トラックまたはディスク全体をくり返し再生することができます。

MP3ディスク　JPEGディスク

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。
- WMA ファイル･オーディオ CD もリピート再生できます。

再生中に

[リピート]を押して「トラック」または「全体」を表示する

トラック　:トラックのリピート再生
全体　:ディスク全体
表示なし　:リピート再生のモードの解除

リピート再生のモードを解除するには
[リピート]をくり返し押してコントロール画面のリピート表示を消します。

リピート再生をやめるには
[停止(■)]を２回押します。

順不同に再生する(ランダム再生)

フォルダ内の全トラックを順不同(ランダム)に再生することができます。

MP3ディスク　JPEGディスク

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。
- WMA ファイルもランダム再生できます。

再生中または一時停止中に

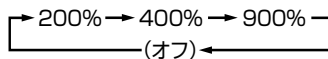
[ランダム]を押して「ランダム」を表示する

ランダム再生をやめるには
[ランダム] を押して「ランダム」表示を消します。

画面を拡大する(ズーム)

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

[ズーム]を押して再生中の画像を拡大してみることができます。
ボタンを押すごとに、倍率が３段階で変化します。

→200%→400%→900%→(オフ)

- **スライドショー再生中の画像を拡大表示するときは、画像全体が表示されたときに一時停止してから､拡大してください。**
- **詳しくは、63ページの「画面を拡大する(ズーム)」をご覧ください。**

DivXディスクの再生

DivXファイルが再生できます。

[DVD] を押します。
- 本体表示窓に DVD を表示します。

❶ DivXディスクを入れる

- MOVIEコントロール画面が表示されます。

❷ [▲／▼]をくり返し押してグループを選び、[決定]を押す

❸ [▲／▼]をくり返し押してファイルを選び、[決定]または[再生(▶)]を押す

- 再生が始まります。

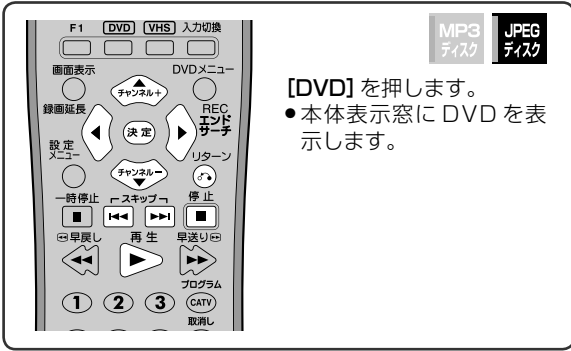
停止するときはには

[停止(■)]を押します。
- MOVIEコントロール画面に戻ります。

MP3やJPEGファイルの混在したディスクのときは

[タイトル]をくり返し押して、MOVIEコントロール画面に切り換えます。

他のグループに移動するには

[▲]を押して を選び、[決定]を押します。
[▲／▼]でグループを選び直すことができます。

DivXファイルについて

本機とDivXディスクとの互換性は次のとおりに制限されています。

- DivX ファイルの可能な解像サイズは 720 × 576(W × H) 以下です。
- CD-R ／ RW にファイルを記録するときは、フォーマットを「ISO9600」にしてください。また、ファイナライズしてください。
- ファイル名は、半角英数字にしてください。
- DivX ファイル中に表示不可能なコードがあれば、「 _ 」で表示されます。
- フレームレートが 30 フレーム以上のときは、本機が正常に動作しないことがあります。
- ビデオとオーディオ構造が交互に記録されていないときは、ビデオまたはオーディオのどちらかが出力されます。
- 日本語での字幕は表示しません。

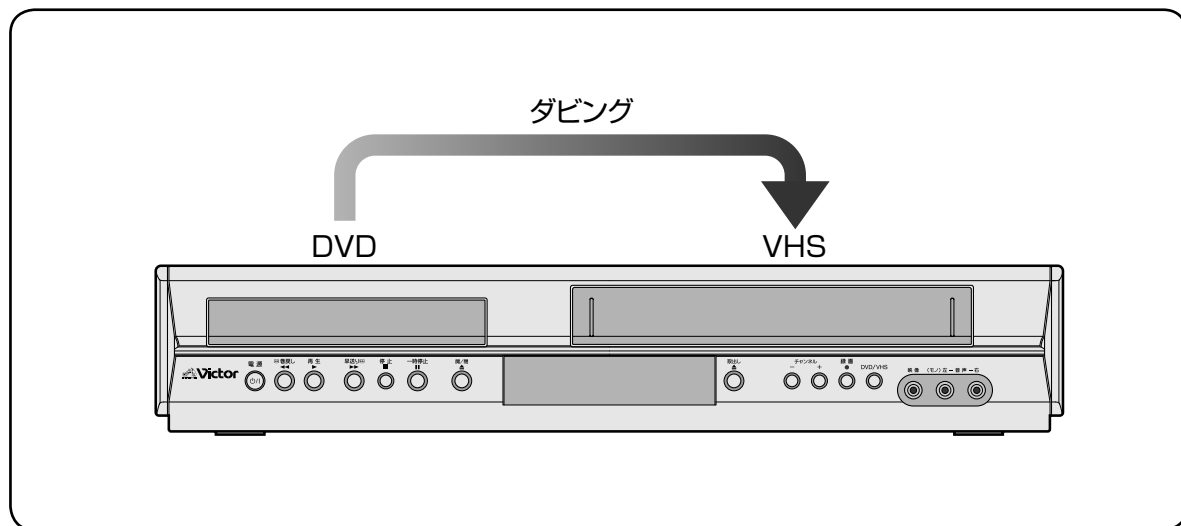
再生可能な DivX ファイル
「.avi」、「.mpg」、「.mpeg」

再生可能な Codec フォーマット
「DIVX3.xx」、「DIVX4.xx」、「DIVX5.xx」、「MP43」、「3IVX」

DVDを楽しむ

DVD側からビデオ側へダビングする

DVDビデオをビデオテープにダビングする

DVDビデオレコーダーなどで録画したDVDビデオを接続不要で簡単にダビングできます。

準備
- 録画用のテープを入れておきます。
- ダビングしたい DVD ビデオを入れておきます

❶ [VHS]を押す

- 本体表示窓にVCRを表示します。

❷ 録画を始める位置で停止する

❸ [DVD]を押す

- 本体表示窓にDVDを表示します。
- DVDが再生開始しているか確認してください。再生していない場合は**[再生(▶)]**を押してください。

❹ ダビングを開始したい場面で[一時停止(II)]を押し、一時停止にする。

❺ [録画(●)]を押す

- ダビングを開始します。
- ダビングが終了したら**[停止(■)]**を押します。DVD/VHSが同時に停止します。

ご注意

- 本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っているディスクは、ビデオテープに録画できません。本体の表示窓に「Lock」が表示されます。
  また、画面に「このディスクはダビングできません」が表示されます。

オーディオ機器とつなぐ

本機とドルビーデジタルデコーダーまたはDTS内蔵アンプをつなぐ

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

本機側

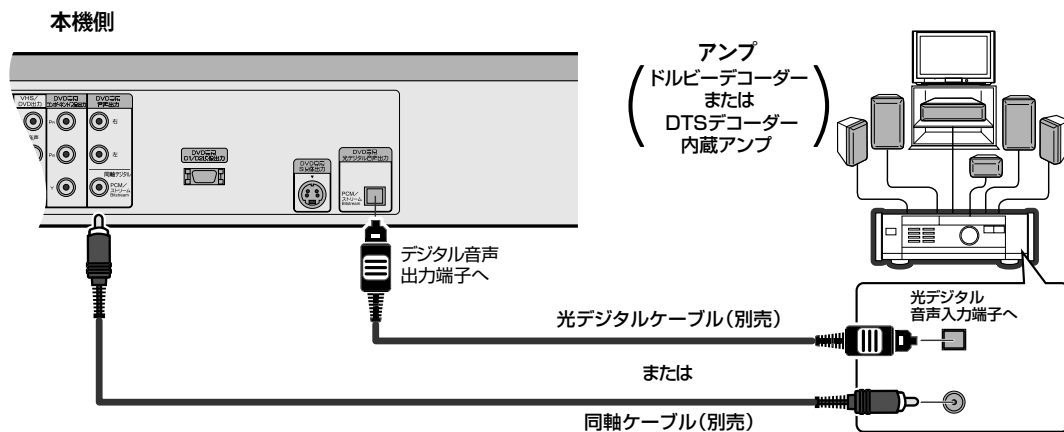
アンプ
（ドルビーデコーダー
または
DTSデコーダー
内蔵アンプ）

デジタル音声
出力端子へ

光デジタル
音声入力端子へ

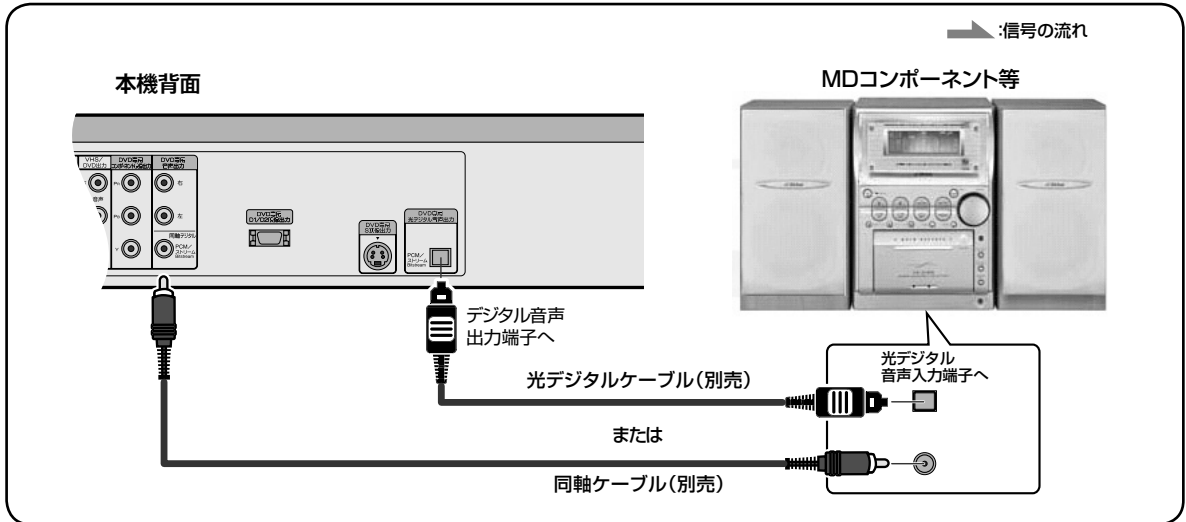
光デジタルケーブル（別売）

または

同軸ケーブル（別売）

- ドルビーデジタルデコーダーや内蔵のアンプを接続する場合は、DVD 設定メニューの「オーディオ ➡Dolby デジタル出力」を「Bitstream」にしてください。（☞**53** ページ）
- DTS デコーダーや内蔵のアンプを接続する場合は、DVD 設定メニューの「オーディオ ➡DTS 出力」を「Bitstream」にしてください。（☞**53** ページ）

オーディオ機器とつないでダビングする

光デジタル音声出力でデジタル録音する

コピー禁止処理のされていないCDの音声をMDなどにデジタル録音できます。

本機 DVD 側（再生）

- ダビングしたいディスクを本機に入れます。
- DVD設定メニューで「オーディオ➡Dolbyデジタル出力」を「PCM」に設定します。(☞**53**ページ)

❶ [DVD] を押してDVDに切り換え、再生する

❷ 録音を開始したい部分で[一時停止（II）］を押す

- 録音開始位置より少し前まで早戻ししてから一時停止してください。

他の機器（MD）側（録音）

- 録音用の MD を入れておきます。
- 詳しい接続方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機を接続した外部入力を選ぶ

❹ 録音一時停止状態にする

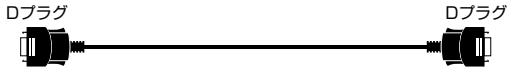
❺ [再生（▶）］を押す

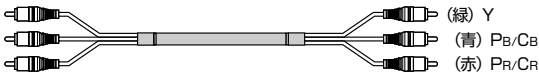
❻ 録音を始める

別売品のご案内

映像／音声用接続コード

コンポーネントビデオコード(D-D)

·D端子付BS/CSデジタルチューナーやテレビを接続する場合

VX-DS110 (1m)	希望小売価格	**オープン価格**
VX-DS120 (2m)	希望小売価格	**オープン価格**

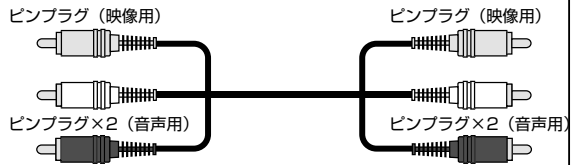
コンポーネントビデオコード

VX-D110E (1m)	希望小売価格	**オープン価格**
VX-D120E (2m)	希望小売価格	**オープン価格**

S映像コード

·S端子の接続

VC-S110G (1m)	希望小売価格	1,050円(税込)
VC-S120G (2m)	希望小売価格	1,260円(税込)
VC-S110E (1m)	希望小売価格	2,310円(税込)
VC-S120E (2m)	希望小売価格	2,730円(税込)

映像／音声コード

·ビデオとステレオAVテレビとの接続

VX-17G (1m)	希望小売価格	1,365円(税込)
VX-18G (2m)	希望小売価格	1,575円(税込)
VX-410E (1m)	希望小売価格	2,625円(税込)
VX-420E (2m)	希望小売価格	2,940円(税込)

光デジタルケーブル

·光角型端子付CDプレーヤーを光角型端子付アンプに接続する場合

XN-110SA (1m)	希望小売価格	2,100円(税込)
XN-120SA (2m)	希望小売価格	2,520円(税込)

アンテナコード

UHF／VHFアンテナコード

·ビデオとテレビアンテナ入力端子などの接続用

VX-22A (1m)	希望小売価格	945円(税込)
VX-23A (2m)	希望小売価格	1,050円(税込)

映像／アンテナコード用変換アダプター

アンテナコード変換用アダプター

VZ-71A	希望小売価格	630円(税込)

故障かな？と思ったら（ビデオ側）

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

	症　状	処　置	参照ページ
一般	電源が入らない	●電源コードがコンセントからはずれていませんか？ ●本体の電源ボタンを押すと、本体表示窓に「SAFE」と表示されませんか？ リモコンでチャイルドロックを解除してください。	19 50
	リモコンが働かない	●リモコンを受光部に向けて約 8m 以内で障害物を避けてお使いください。 ●電池を交換してください。 ●電池の極性（⊕、⊖）が違っていませんか？ 電池を正しく入れ直してください。 ●リモコン受光部への直射日光をさえぎってお使いください。	23 23 23 —
	自動的に電源が切れる	●設定メニューの「モード設定 ➡ オフタイマー」が「2 時間」または「6 時間」になっていませんか？ 電源「入」の状態で何も操作をしないと、2 時間または 6 時間後に自動的に電源が切れます。	37、47
	テープが入らない	●正しい向きで入れてください。	38
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	●再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムは再生終了後約 5 分間は回転しています。故障ではありません。	—
	カウンター表示が進まない	●早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が進みません。	—
	リモコンが働かない	●リモコンコード (A/B/C) が合っていますか？ ●電池が消耗していませんか？	24 23
	ダビングできない	●正しい外部入力「L1」または「F1」を選んでいますか？	48
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	●設定メニューの「モード選択 ➡ オンスクリーン／ガイド」を「切」にしてください。	37
	自動時刻調整が働かない	●地域番号入力後、NHK 教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「自動時刻調整チャンネル設定」のチャンネルも変更してください。	25
	テレビに番組が出ない	●アンテナ接続とチャンネル設定をご確認ください。 ●映らないときは、「地域番号で設定する」でお近くの地域番号をためしてください。 ●放送局をひとつずつ設定してください。 ●テレビの空きチャンネル（1 チャンネルまたは 2 チャンネル）で見たいときは、市販の RF コンバーターをお買い求めください。 ●アンテナの受信形態を確認して、別売の「分波器」または「混合器」をご使用ください。	18、25 25 32 — 18
	設定メニュー画面が出ない	●テレビと本機の接続が合っていますか？ ●テレビの入力切換を本機が接続された「ビデオ 1」／「ビデオ 2」などに切り換えてください。 テレビの取扱説明書のビデオデッキ接続の方法などをもう一度ご確認ください。	19 12 —

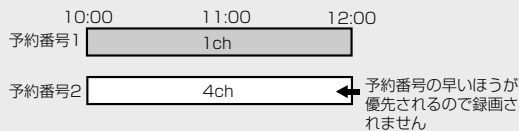
症 状		処 置	参照ページ
再生	ハイファイステレオの音声が出ない	●モノラルビデオデッキやモノラル音声のビデオカメラで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。	—
	日本語と外国語が同時に聞こえる	●[音声] で聞きたい音声を選んでください。	46
	テレビに映像が出ない	●テレビ側での入力を切り換えましたか？ 映像 / 音声入力端子付テレビ (AV テレビ) と接続しているときはテレビの入力切換を「ビデオ 1」、「ビデオ 2」などにします。	12
	映像が乱れる、ちらつく	●オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調整を行います。 ●再生中は、トラッキングを手動で調節してください。 録画状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。 ●長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売のクリーニングテープ TCL-SD で掃除してください。	45 45 8
	早送り / 巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	●再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。	—
	テレビ画面に「取扱説明書の(困った状態になったとき(再生))をご覧ください」と表示される	●別売りのクリーニングテープ TCL-SD で掃除してください。	—
録画	録画できない	●カセットのツメが付いていますか？ ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。	41
	希望の番組が録画できない	●チャンネルが合っていますか？ 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにチャンネル設定してください。	32
	録画予約ができない	●日付と時刻を設定してありますか？ ●日付と時刻がずれていませんか？日付と時刻を合わせてください。 ●カセットのツメがついていますか？ ●本体表示窓の ⏲ は点灯していますか？ ●予約内容を確認してください。 ●停電があったときは正しく動作しません。 ●本機の電源が「切」や DVD 側が選択されているときは、予約ができません。	35 35 41 42、43 44 — —
	本体表示窓の「○○」が点滅する	●カセットが入っていません。ツメの付いたカセットを入れてください。	41
	本体表示窓に「−− : −−」を表示している	●停電がありました。もう一度、日付と時刻を設定してください。 故障ではありません。	35
	予約の録画が始まるまでの間、テープを見たい	●電源を入れてください。	—
	予約の録画中に止まって電源が切れている	●テープの終わりまで録画すると、自動的にカセットが停止し、電源が切れます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるテープを入れてください。	—
	予約の録画中に停止するには	● [停止 (■)] を押します。	—

故障かな？と思ったら（ビデオ側）

症　状		処　置	参照ページ
録画	録画予約中、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される	●録画予約は 12 番組までしか記憶できません。予約内容を確認し、不要な予約を取消してから予約してください。	44
	予約が重なったら	●録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。 ●予約 1 の終了時刻と予約 2 の開始時刻が同じときは、予約 2 の頭が少し欠けます。また、つなぎ目でノイズが出ることがあります。	― ―
	予約の録画中に、誤って本体の電源ボタンを押してしまったら	●予約の録画中に本体の [電源] を押すと、録画を停止し、電源が切れます。（リモコンの [電源] を押しても電源は切れません。） 電源が切れたときは、他にも予約があれば、ふたたび録画予約待機中になります。	―
	G コード予約ができない	●日付と時刻がずれていませんか？日付と時刻を合わせてください。 ●G コード番号が違っていませんか？正しい番号を入力してください。 （過去の G コード入力はできません。） ●G コード入力後、録画したいチャンネルになっているか確認してください。正しくないときは、チャンネルを変更してください。	35 42 42

予約した番組が重なったら

・同じ日の同じ時間に、2 つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

・同じ日の同じ時間帯に、2 つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

・同じ日に録画時間が重なって 2 つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

故障かな？と思ったら（DVD側）

症状		処置	参照ページ
音声	音が出ない	●正しく接続してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。	19、60 11
	音がひずむ	●ディスクをクリーニングしてください。	11
	テレビの音声にくらべて、再生中の音量が小さい	●DVD 設定メニューの、「D レンジコントロール」を「オン」にしてください。ドルビーデジタルで収録されたディスクに限り、音量差が改善されます。	53
映像	映像が出ない	●映像コードを正しく接続してください。 ●テレビの入力選択が間違っている場合、正しい入力を選び直してください。	― ―
	画面サイズがおかしい	●DVD 設定メニューの「画面アスペクト」および「画面モード」の設定をお手持ちのテレビに合わせて正しく設定し直してください。	52
	映像が乱れる、白黒画面になる	●本機とテレビの間にビデオデッキを接続しているか、または本機をビデオ一体型テレビに接続していませんか？ ● 本機とテレビを直接接続してください。	― ―
再生	「ディスクの地域コードをチェックしてください」と表示される	●本機とディスクのリージョン番号が異なっています。このディスクを再生することはできません。	9
	再生ができない	●ディスクを正しくセットし直してください。 ●本機で再生できないディスクを再生しようとしています。ディスクを確認してください。 ●暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって本機の内部に水滴がついているおそれがあります。電源を入れたまま放置し、数時間してからディスクを入れてください。	― 9 ―
	音声言語 / 音声 / 字幕言語が切り換えられない	●再生中のディスクに複数の言語が収録されていない可能性があります。 ●再生中のディスクが、**[音声]** ボタンと **[字幕]** ボタンの操作を受け付けていません。言語メニューで切り換えてください。	― ―
	字幕が出ない	●再生中のディスクに字幕が収録されていない可能性があります。 ●「字幕言語」設定が「オフ」になっています。「字幕言語」を正しく設定し直してください。 ●A-B リピート中は字幕が正しく表示されないことがあります。	― 52 ―
その他	ディスクが取り出せない	●**[開／閉（⏏）]** を押してディスクを取り出すときに、出てくる途中のディスクトレイに触れると出てこなくなる場合があります。このようなときは、電源を「切」にして再度 **[開／閉（⏏）]** を押してください。	―
	正しく動作しない	●雷や電子ノイズでマイコンが誤動作しているおそれがあります。いったん電源を「切」にして電源プラグを接続し直してください。	―

ビクターサービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
	北海道			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)25-2533	〒070-0035	旭川市5条通17丁目1439番地 1
	北見S.S.	(0157)25-8557	〒090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	〒085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	〒080-0806	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	〒040-0001	函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F
	東北			
青森	青森S.C.	(017)723-2261	〒030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	〒031-0803	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	〒020-0836	盛岡市津志田西二丁目3-20
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	〒010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	〒017-0874	大館市美園町5-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	〒984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.S.	(023)642-0279	〒990-2412	山形市松山3-12-18
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	〒963-0205	郡山市堤1-3
	関東・甲信越			
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(025)241-4003**	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	〒950-0084	新潟市中央区明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	〒940-0012	長岡市下々条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(026)221-7607**	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	〒380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	〒390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(027)255-5982**	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	〒371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター㈱前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(028)635-2938**	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	〒321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(029)246-0590**	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	水戸S.C.	(029)246-1560	〒310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱水戸工場技術棟1F
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(055)227-5773**	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	〒400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
	千葉			
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(03)5803-2888**	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)202-0263	〒260-0013	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏S.C.	(04)7175-4322	〒277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.C.	(047)353-6189	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	東京			
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(03)5803-2888**	〒279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	〒113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬S.C.	(03)3993-7520	〒176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)5748-3701	〒146-0082	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	〒192-8620	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	ENGサポートセンター24 受付グループ	(03)5631-2235	〒131-0041	墨田区八広五丁目11-1
	埼玉			
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(03)5803-2888**	〒279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	〒331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	神奈川			
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	**(03)5803-2888**	〒279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)450-6211	〒221-0031	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	相模原S.C.	(042)776-2052	〒229-0004	相模原市古淵3-7-4
	海老名S.C.	(046)234-4500	〒243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
	静岡			
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	〒422-8043	静岡市駿河区中田本町 62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	〒410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	〒435-0041	浜松市東区北島町785
	東海・北陸			
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	〒481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)25-0321	〒444-0913	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	〒440-0028	豊橋市多米東町１丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	〒500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(059)352-0841	〒510-0076	四日市市堀木2-15-2
富山	富山S.S.	(076)425-2397	〒939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	〒921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	〒910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0407

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
	近畿			
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	〒524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	西日本コールセンター	**(06)6304-5731**	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	〒612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	〒620-0057	福知山市問屋町47番地市場ハイツA1F ウチノ電子株式会社内
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	西日本コールセンター	**(06)6304-5731**	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0742)35-0935	〒630-8115	奈良市大宮町六丁目3-10 藤本ビル1階
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	西日本コールセンター	**(06)6304-5731**	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	〒591-8032	堺市北区百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	〒640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	〒646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	西日本コールセンター	**(06)6304-5731**	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	〒651-0083	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30 三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路S.S.	(079)234-3833	〒670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
	中国			
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	〒700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	〒730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	〒721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.S.	(083)973-3708	〒754-0022	山口市小郡花園町5-28
	山陰			
島根	松江S.C.	(0852)31-8900	〒690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	〒680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
	四国			
香川	高松S.C.	(087)866-1200	〒761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.S.	(088)622-7387	〒770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	〒781-8122	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	〒791-8015	松山市中央1-4-12
	九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	北九州S.C.	(093)921-3981	〒802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.S.	(095)862-5522	〒852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	〒857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	〒870-0820	大分市西大道三丁目1番1号
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	〒861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	〒880-0032	宮崎市霧島町3-59
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	〒890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	〒901-2224	宜野湾市真志喜1-13-16

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（**78**〜**79**ページ参照）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

74〜**77**ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	DVDプレーヤー一体型VHSビデオ
型　名	HR-DV5
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所／お名前	
電話番号	(　　)　ー

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　**●長年ご使用の本機の点検をぜひ！**

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

本機は非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。
トラッキングのずれたビデオデッキで記録されたテープは、正常なビデオデッキで再生するとノイズが出たり、画や音が出なくなることがあります。
いつも正しいトラッキング状態を保つためには、ときどき他のビデオデッキで録画されたテープ（レンタルテープなど）を再生し、ノイズが出ないことを確認することをおすすめします。

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

● お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
● お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
● 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
　①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
　②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
● お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

●電源	AC100 V　50 Hz/60 Hz
●消費電力	16 W 待機時消費電力 *　0.8 W * 省エネ法に定める待機時消費電力です。
●外形寸法	430 mm × 79 mm × 263 mm （幅）（高さ）（奥行き）
●質量	4.0 kg
●許容動作温度	＋ 5 ℃～＋ 40 ℃
●許容相対湿度	35 %～ 80 %
●許容保存温度	－ 20 ℃～＋ 60 ℃

ビデオ（映像）

●録画・再生方式	回転 2 ヘッドヘリカルスキャン 輝度信号　FM 方式 色信号　低域変換直接記録方式
●映像信号	NTSC 日米標準信号

テープ走行

●早送り／巻戻し時間　約 180 秒（T-120 テープ使用時）
テープによっては早送り／巻戻しに時間がかかる場合があります。

ディスク

●光ピックアップ	1 レンズ 2 レーザーユニット方式 DVD 用：650 nm、CD 用：780 nm
●再生可能ディスク	DVD ビデオ、ビデオ CD、スーパービデオ CD DVD-R（ビデオフォーマット） DVD-RW（VR, ビデオフォーマット） オーディオ CD CD-R/RW（オーディオ CD，ビデオ CD，スーパービデオCD，MP3/WMA, JPEG, DivX）

ハイファイオーディオ（音声）

●録音方式	VHS ステレオハイファイ方式
●周波数特性	20 Hz ～ 20 kHz
●ダイナミックレンジ	85 dB 以上
●ワウ・フラッター	0.03 % 以下
●チャンネルセパレーション	55 dB 以上

ノーマルオーディオ（音声）

●録音方式	交流バイアス方式
●音声トラック	1 チャンネル（モノラル）

チューナー（テレビ受信）

●受信方式	周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式	インターキャリア方式
●受信チャンネル	VHF　1 ～ 12 チャンネル UHF　13 ～ 62 チャンネル CATV　C13 ～ C63 チャンネル

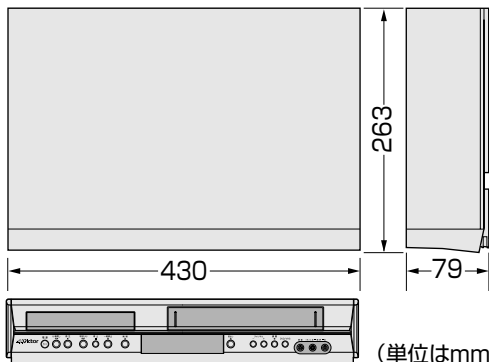
タイマー（タイマー予約・時計）

●タイマー予約	1 ヵ月間 12 番組予約
●時計	24 時間表示方式
●停電補償時間	なし

接続端子

●アンテナ VHF/UHF 一軸	75 Ω F 型コネクター
●映像 出力	入力　0.5 ～ 2.0 Vp-p　75 Ω（ピンジャック） 1.0 Vp-p　75 Ω（ピンジャック）
●音声 出力	入力　－ 8 dBs　50 kΩ（ピンジャック） モノ（左）対応（前面入力のみ） － 8 dBs　1 kΩ（ピンジャック）
●D1/D2 映像出力 コンポーネント映像出力	Y 出力：1.0 Vp-p　75 Ω PB/CB、PR/CR 出力：0.7 Vp-p　75 Ω
●光デジタル音声出力	－ 21 dBm ～－ 15 dBm（ピーク）

寸　法　図

（単位はmm）

● 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
● このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

その他

用語解説

あ

アスペクト比

表示される映像の縦横比のことです。通常テレビで横：縦の比は４：３ 、ワイドテレビおよび HD テレビで横：縦は16：９の比率をもっています。

インターレーススキャン

従来のテレビで用いられている方式で、それぞれのフレーム情報を半分に「間引き」して１つのフィールド情報とし、連続した２つのフィールドを使って１つの画面（フレーム）を作る方法です。

か

カーソル

一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

片面ディスク

DVD ディスクのうち、信号読み出し面が片面のみをいいます。片面１層と片面２層があります。

コンポジット

輝度信号と色信号を周波数多重技術で複合した映像信号と、色の基準となるバースト信号、同期信号を組み合わせた複合映像信号のことです。

コンポーネント

光の３ 原色からなる映像信号を再現するために必要な情報の一部を、各々別の信号線で伝送するビデオ信号方式のことです。R/G/B や Y/CB/CR などの信号形式があります。

さ

再生可能地域番号（リージョンコード）

あらかじめ設定された地域についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を８つの地域に分け、これに各地域番号（リージョン番号）をつけ識別します。ディスクに設定された再生可能地域番号の中に、プレーヤーに付与された地域番号と合致する番号があれば、プレーヤーはそのディスクを再生できます。

サラウンド

視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号に変換する際の標本化周波数のことです。1 秒間に何回の割合で、もとのアナログ信号を標本化し、デジタル信号に変換するかを数値で表したものです。

色差信号

R/G/B のそれぞれの信号から輝度信号（Y 信号）を引いた信号で、色相と色の濃さを表す信号をいいます。

た

ダウンミックス

サラウンド方式（3ch 以上）で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ 2ch 音声に変換して再生する機能をいいます。
一般には、信号チャンネル数よりも、スピーカーの数が少ないときに行なわれるミキシングのことです。

チャプター

タイトル内の各章のことです。

ディスクメニュー

DVD ビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ドルビーデジタル

家庭用デジタルサラウンド方式として開発されたドルビーデジタル（AC-3）方式のことをいいます。最大フロント3ch、リア 2ch およびサブウーハー 0.1ch で構成される5.1ch が特長です。

は

ビットレート

１秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のことです。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 対応ビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

プログレッシブスキャン

すべてのフレーム情報を１つのフィールドで映し出します。したがって映像情報が従来方式に比べて倍になり、チラツキの少ない高密度の画像になります。

ま

マルチアングル

一つのタイトルの中に、同一時間で進行する複数の場面を収録し、これをユーザーの操作により切り換えて視聴できるようにした機能です。

マルチチャンネル

DVD ビデオでは、一本の音声トラックで一つの音場を構成するように定められていますが、このうち３つ以上のチャンネルをもった音声トラックの構成をいいます。

マルチランゲージ

一つのタイトルが複数の言語に対応して制作されていることを一般的にマルチランゲージといいます。

ら

リニア PCM 音声

アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮をまったくしない方式のことです。

両面ディスク

DVD ディスクのうち、信号読み出し面が両側のものです。反対の面を再生するには、ディスクを裏返す必要があります。

レターボックス

４：３テレビに映画などの横長の画像を欠けることなく映し出すために画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出す手法です。
画面が文字通り郵便受けに似ていることから名付けられたものです。

索　引

英字

あ

か

さ

た

は

ま

や

ら

わ

HR-DV5　取扱説明書

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、**80** ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 **78～79 ページをご覧ください。**	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話　(045) 450−8950** **FAX　(045) 450−2275** 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0607MNH-SW-OT